

## 青葉会の児童発達支援及び放課後等デイサービス事業のご家族アンケートについて（令和3年7月実施）

社会福祉法人青葉会

青葉会では、ご家族のニーズを探るため、国が定めるガイドラインの評価表等による調査に加えて毎年ご家族に対してオリジナルなアンケート調査を実施してきています。今年は、放課後等デイサービスの各事業所と一緒に、児童発達支援センターのリトルペガサスも同じ調査票を使ってアンケート調査をさせていただきました。ご協力に感謝申し上げます。

今年度初めて契約された方にとっては、コロナ禍のため対面でお話する機会がないままでのアンケート調査でしたが、たくさんの方に回答していただきました。貴重なご意見をありがとうございました。

事業所	配布数	回答数	回収率
ペガサス	39	35	89.7%
第2ペガサス	35	35	100%
ジュニアペガサス	58	57	98.3%
リトルペガサス	66	62	93.9%

リトルペガサスで取り組んできましたサポートファイルの利用状況もお聞きしました。サポートファイルは、後期の個別支援計画から、青葉会の全ての児童事業所にて取り組んでいく予定です。

これからも皆様に喜んでいただける楽しい活動を目指して取り組んでいきます。宜しくお願いします。



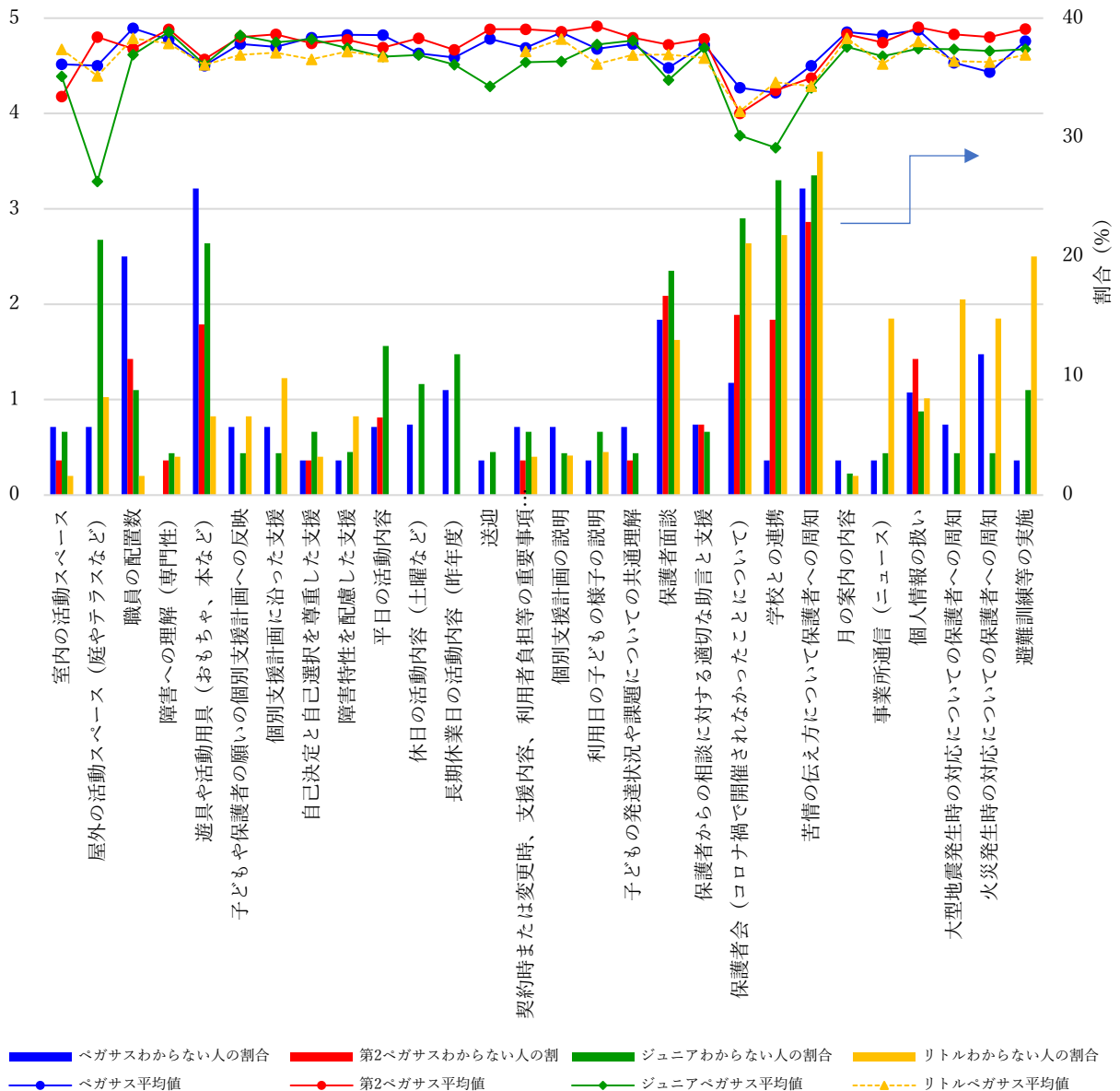
社会福祉法人青葉会  
児童グループ職員一同

# 1. 今年度の事業所の活動

最初に、今年度の活動について満足度を尋ねました。回答の「不満」(1点)、「やや不満」(2点)、「どちらでもない」(3点)、「やや満足」(4点)、「満足」(5点)とし平均点を出しました。「わからない」と回答した人の割合も合わせて示しました。考察は、各事業所の項で後述します。

いずれの事業所のいずれの項目においても比較的到高評価を得たと言えるものの、「苦情に対する対応」や「学校との連携」、「保護者会や保護者面談」、「遊具や活動用具」などの項目に「わからない」とする回答が多く見られました。毎年、こういった「わからない」とする方の解消に向けて取り組んでまいりましたが、事業所の取組みがまだまだ不十分だったと反省しています。

例年であれば保護者会などの場を通じたり、個別支援計画の説明などで対面でお話をしていますが、昨年以降コロナ禍で直接ご家族とお話する機会がなかったことから、さらに「わからない」とする回答が増えてしまいました。特に、今年度新しく契約された方から「わからない」とする回答が多かったようです。コロナ禍であっても、工夫して取り組んでまいります。



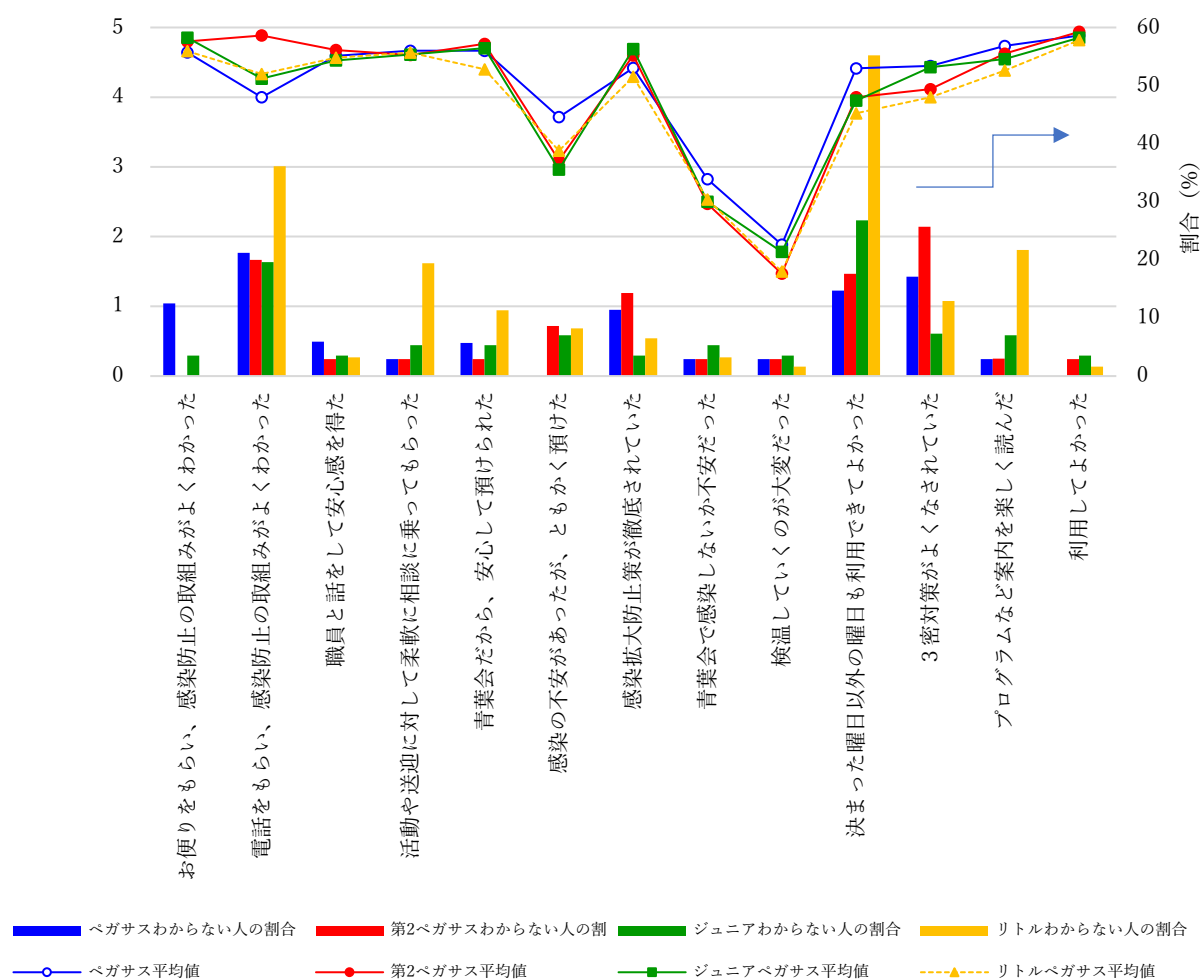
## 2. 昨年度からのコロナ禍での活動

### (1) コロナ禍での活動

いずれの事業所においても、「利用してよかった」、「青葉会だから、安心して預けられた」、「職員と話をして安心感を得た」といった回答をはじめとして、青葉会の各事業所が取り組んできたコロナ対策について概ね評価していただきました。職員にとってはリスクと常に対峙した中での毎日であり、今回のアンケート調査でご支持いただきましたことは、とてもありがたく嬉しく思いました。

第2ペガサスでは、ほとんどの方が「電話をもらい、感染防止の取組がよくわかった」とされました。この結果は、私たちにどういった情報の提供方法が必要なのかを示してくれたように思います。その一方で、この項目にリトルペガサスで「わからない」とした方が多かったのは、そもそも母子同室のため直接ご説明している方がいたり、契約してから3か月後のアンケートのため、その機会が少なかったからと推察しています。

前項で紹介しました「日々の活動」と同じく「項目の内容がわからない」とされた方が少なからずいらっしゃるため、丁寧に説明していきたいと思えます。

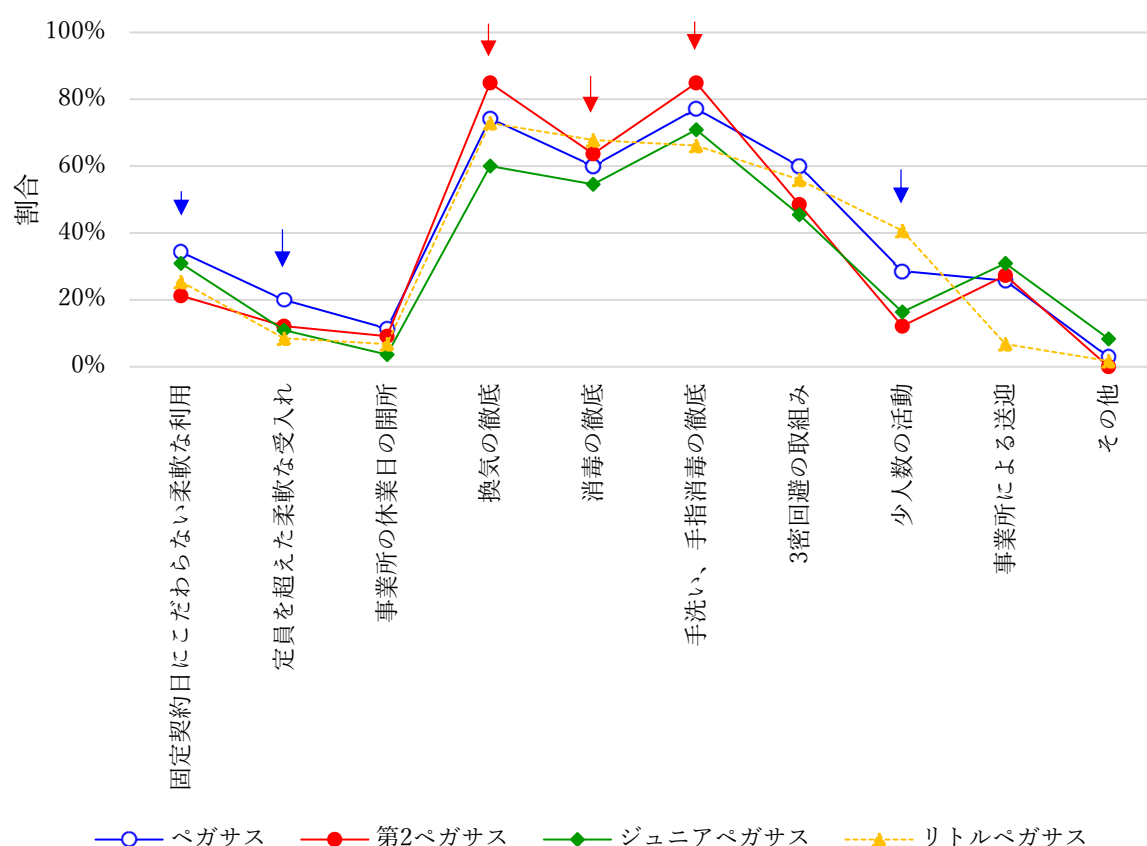


## (2) 新型コロナ対策として青葉会の事業所への期待

青葉会の事業所に今後とも期待する新型コロナ対策は、事業所に関わらず同じ傾向を示し、「手洗い、手指消毒の徹底」、「換気の徹底」及び「消毒の徹底」がベスト3であり、60%から80%強の高い支持がありました。後期の事業活動におきましても、ご家族の皆様から高く期待されているこの三つ組みの取組みを徹底していきます。

続いて、「3密回避の取組み」に対して、50%から60%の方が期待されていることがわかりました。

「定員を超えた柔軟な受入れ」や「固定契約日にこだわらない柔軟な利用」は、コロナ禍の活動では期待されていないこと、また「少人数の活動」は、リトルペガサスを除きコロナ禍の活動として期待されていないこともわかりました。今後の取組で、参考にさせていただきます。



### 3. サポートファイル

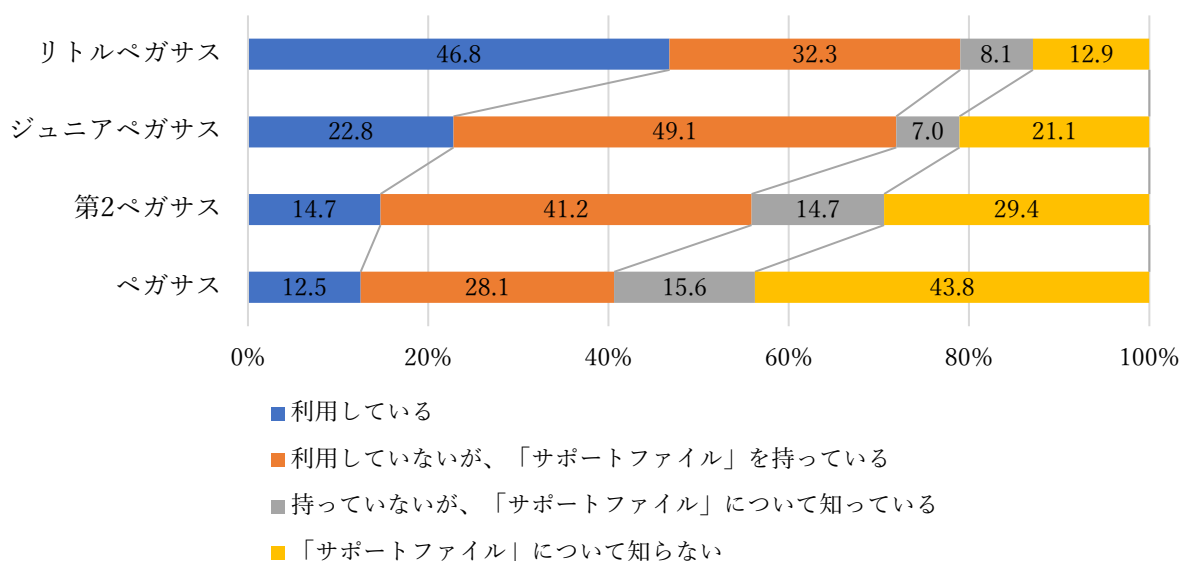
柏市では、障がいのあるお子様や発達支援に配慮を必要とするお子様を対象として「サポートファイル」の普及に取り組まれています。ご家族がお子様の大切な成長の記録や医療・福祉サービスなどの利用に関する情報をサポートファイルにまとめて整理することで、お子様の成長とともに、教育、医療、福祉の支援者が変わったときに、スムーズな引継ぎや情報伝達に役立つことを目指しています。しかし、この取り組みはスタートして10年近くが経ちましたが、まだまだ必要なご家族に利用されているとは言えません。

そこで、リトルペガサスで取り組んでいるサポートファイルについて、その利用状況を青葉会の全ての児童事業所のご家族にお尋ねしました。その結果、リトルペガサスでは、「利用している」が46.8%、「利用していないがサポートファイルを持っている」が32.3%でした。リトルペガサスでサポートファイルをお渡ししていても、使いきれているとは言えない状況が示唆されました。また、サポートファイルを持ったリトルペガサスの卒室児を受け入れているジュニアペガサスでは、「利用している」が22.8%、「利用していないがサポートファイルを持っている」が49.1%でした。リトルペガサスを卒室してしまうと、利用されていない方が多いことを知りました。

ペガサスや第2ペガサスで「サポートファイルを持っている」と答えた方の多くは、特別支援学校のサポートファイルのことを言っている疑いがあると考えています。このことを考慮すると、ペガサスや第2ペガサスでは、ほとんど使われていないと推察しています。

今回の調査の結果を知り、青葉会は、サポートファイルに取り組む法人として、①別支援計画の作成・提供は、2021年度後期個別支援計画からサポートファイルの一環として取り組むこと、②面談時にサポートファイルを持参してもらい、個別支援計画をサポートファイルに綴っていたこと、③職員とご家族の意識の乖離を埋めるため、毎年サポートファイルに関する意識調査の実施に取り組んでいく予定です。

サポートファイルの所持状況



## 4. 青葉会の事業所以外の活動

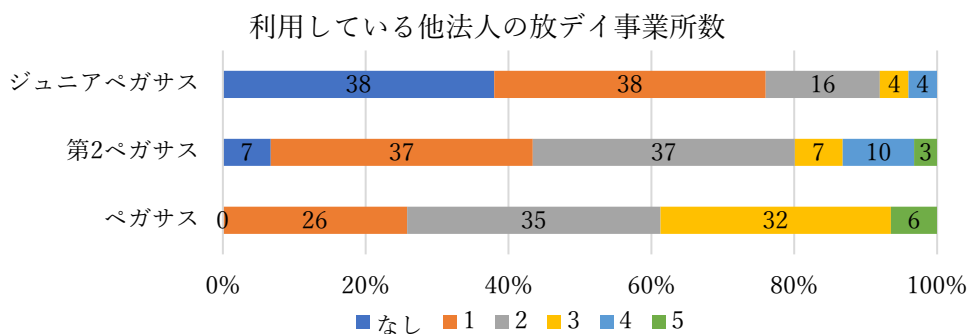
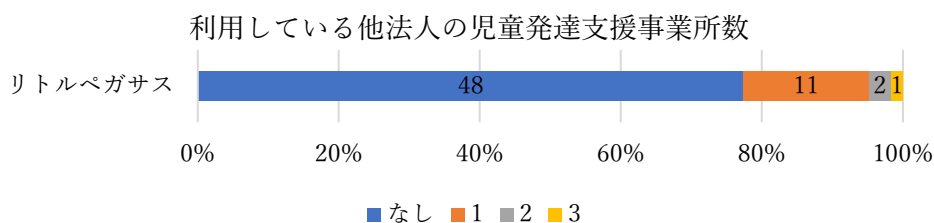
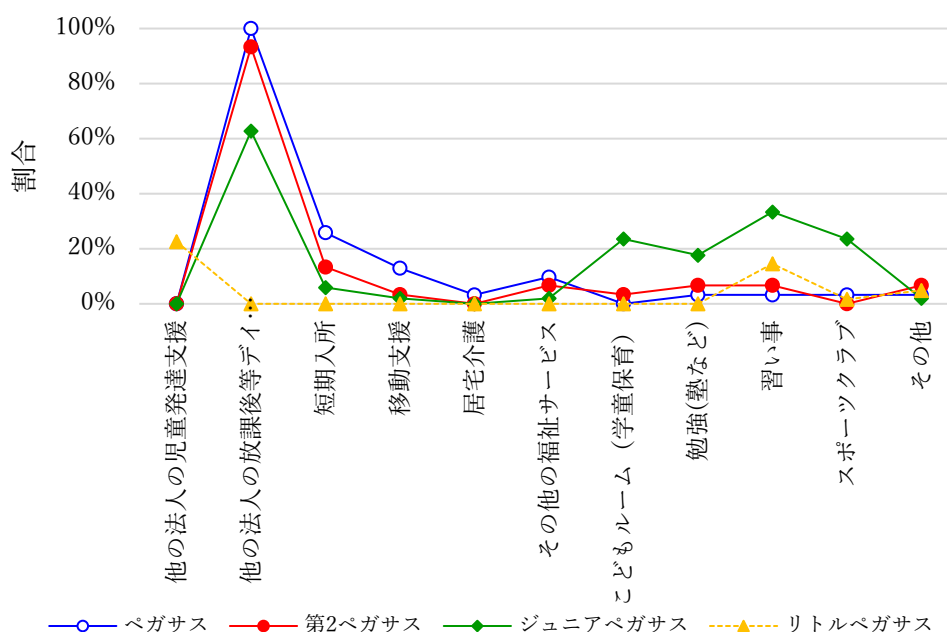
### (1) 利用されている事業所以外の他の活動

ペガサス、第2ペガサスは、ほぼ全員が「他の放課後等デイサービス」を利用していました。

ジュニアペガサスは、60%の方が他の「放課後等デイサービス」を利用。その他に、「習い事」、「こどもルーム」、「勉強」、「スポーツクラブ」の利用者がそれぞれ20%程度いらっしゃいました。

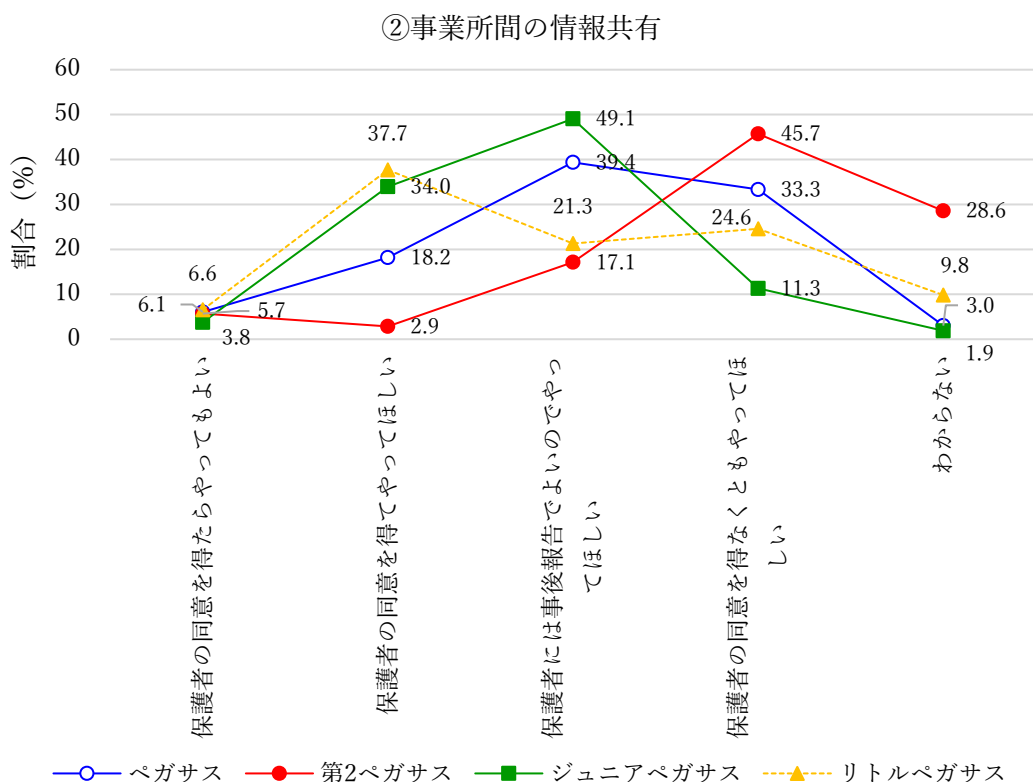
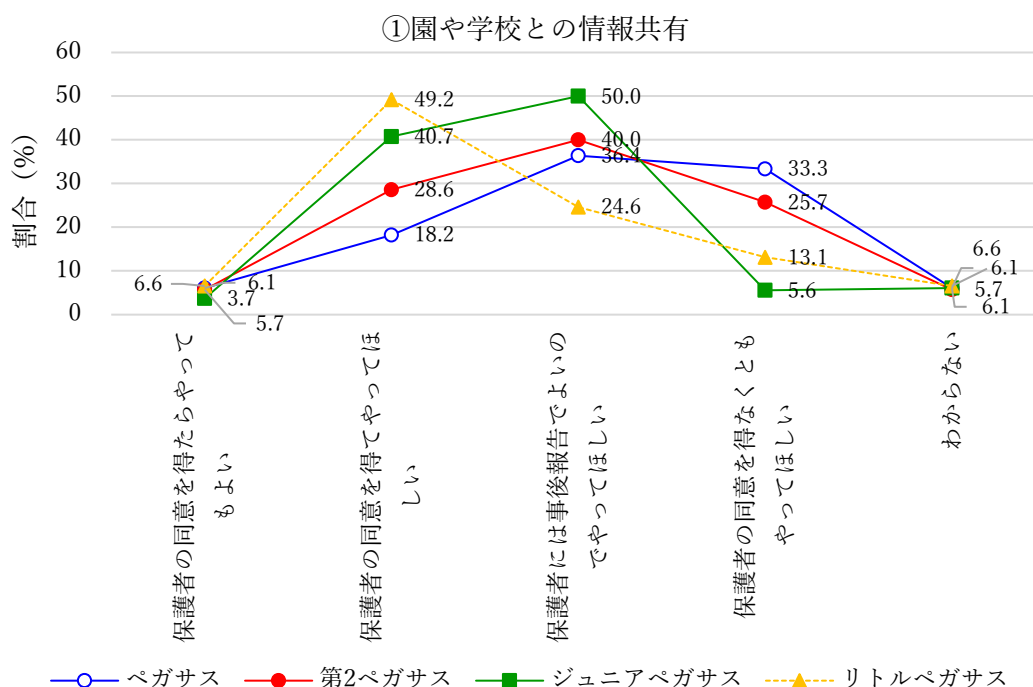
リトルペガサスは、20%の方が「他の児童発達支援」を利用されていました。

放課後等デイサービス事業所の「短期入所」の利用は、夏休みのお泊り体験の利用がほとんどだと思います。ペガサスでは、「移動支援」の利用者が13%いましたが、これらを除くと、ほとんどの方の福祉サービスの利用は「放課後等デイサービス」や「児童発達支援」であって、それ以外の「他の福祉サービス」を利用されている方は、極めて限られていることがわかりました。



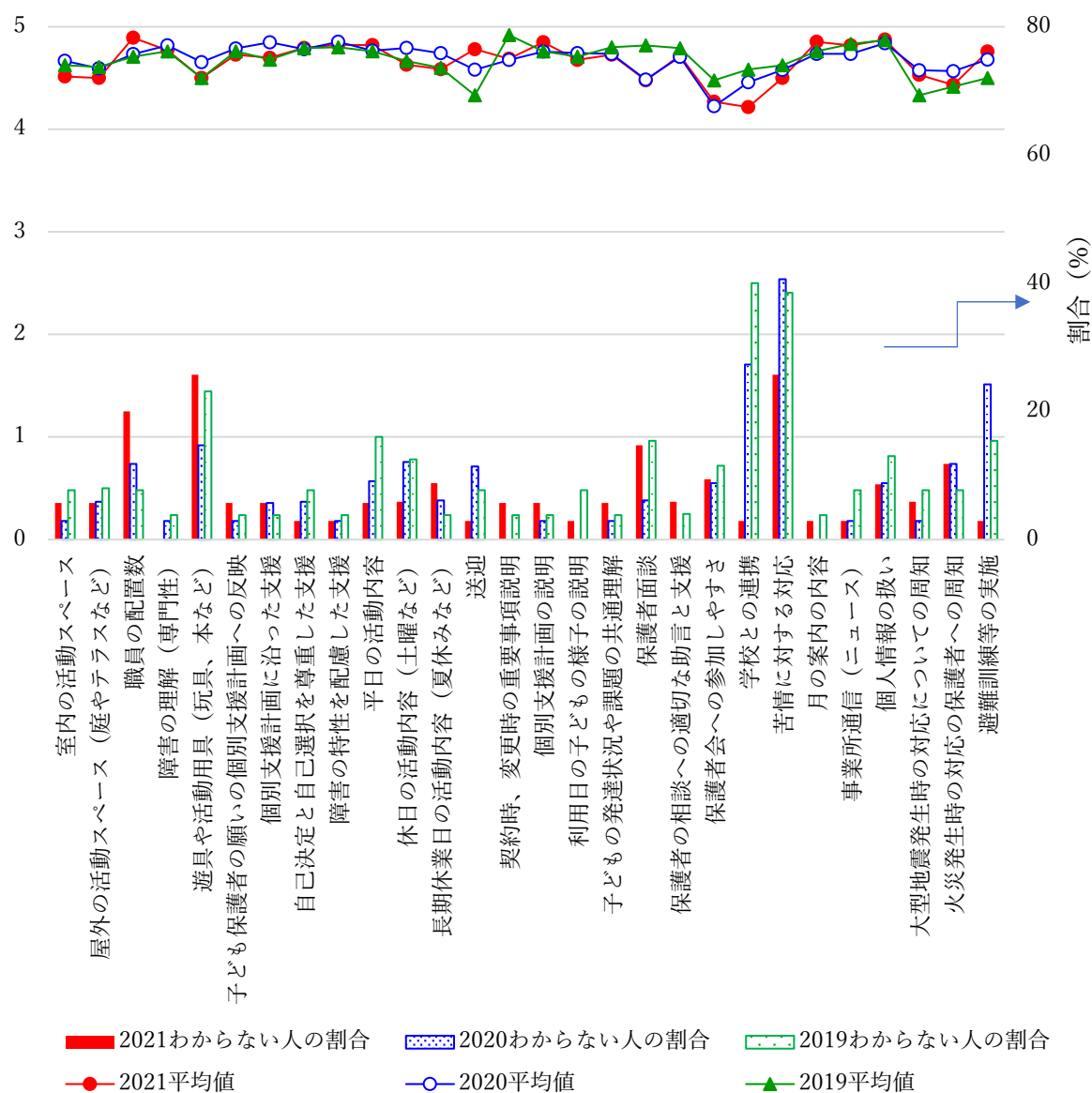
## (2) こどもの情報共有

「園や学校とのこどもの情報共有」、「事業所間でのこどもの情報の共有」のいずれであっても「保護者の同意を得たらやってもいい」とする回答は10%弱程度にすぎず、ご家族は関係機関との情報の有効な共有を望まれていることが知られました。事業所によって保護者との同意の方法についての意見は異なりましたが、いただいたご意見を参考にさせていただき、一人ひとりの利用者の支援のため、ご家族にご説明をしながら丁寧に関係機関と連携してまいります。



## 5. 自閉症サポートセンター ペガサス

### I 今年度の活動



今年もお忙しい中アンケートにご協力いただきありがとうございました。毎年、いずれの項目も5点（満足）や4点（やや満足）の方が多く、私たち職員はこの評価を拝見して大変励みをいただけてきました。

一方で、項目によっては「わからない」と回答される方も少なくなかったことから、今年は重要事項説明書をお配りさせていただく時に、新たな取組みに加えて、昨年度のアンケートで「わからない」が多かった項目を中心に補足してご説明した別紙をご用意させていただきました。そのためか、一昨年度、昨年度と「わからない」という回答が多かった「避難訓練等の実施」や「学校等との連携」を「わからない」と回答される方は少なくなりました。

しかし、コロナ禍のため、まだまだお母さんたちとゆっくりお話ができない中でもお伝えしていく方法の工夫をもっともっていかねばいけないと感じています。



今年の活動で、「わからない」という回答が多かった項目を中心にコメントさせていただきます。

### (1) 苦情に対する対応

昨年と比べて、「わからない」という人は30ポイント減りましたが、「苦情に対する対応」は「わからない」方が多い項目です。

ペガサスでは、「苦情相談」について、新規の契約時や、年度初めの保護者会の中で重要事項説明書に沿ってお話しさせていただいています。事業所に、ご家族やお子様からの相談、苦情等に対応する窓口を設置し、ご家族からご要望、苦情等があれば、ご家族、お子様の立場に立って、誠実かつ迅速に対応し、改善に努めさせていただきます。

窓口の担当職員だけでなく、送迎でお会いした職員や児童発達支援管理責任者、管理者にいつでも何でもご相談ください。

### (2) 遊具や活動用具（玩具、本など）

ペガサスの放課後活動では、友達同士おやつを作って過ごす活動を中心に、晴れた日はお庭に出て大きなブランコに乗ったり泥んこ遊びをしたり、室内でトランポリン！体を使って遊び過ごす事も多いですが、この頃の高校生たちは、CDを聞いたりパソコンに向き合っている友達もいます。自分の見たい画像をきっかけに「やって！」とリクエストできるようになったり、ローマ字打ちにチャレンジしたり…小学生の頃にお兄さん達がやっている姿を見てきた高校生の男の子は、学校でのパソコン検定を受けるんだ！と素敵なチャレンジをしている友達もいます。文字の打ち方の練習ゲームで早打ちと正確さを練習しパソコン検定に臨むんだ！と日々頑張っています。小さなお友達は、クレヨンや色鉛筆でお絵描きや塗絵、ハサミの活動でペーパークラフトが人気です！牛乳パックや食品の空き容器を使ってセロハンテープやガムテープを使う経験を通して指先を使う経験や“適量切る”等の経験もしています。

ペガサスでの本や玩具は、ご家庭からの「もう使わなくなったからペガサスで楽しめるかな…」等と寄付していただく機会が多くとっても助かっています。すぐに壊れてしまったり使いこなして劣化してしまう頻度が高いため、このような皆様のご協力は、とってもありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。ぜひご家庭で使わなくなってしまった玩具や、使っていない物、処分しようと思っているんだけど…という遊び道具があったらお声掛け頂けたら嬉しいです！

### (3) 職員の配置数

ペガサスでは、管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員5名（正規職員4名、非常勤職員1名）、運転手1名の職員が当番を組んで、月曜日から土曜日と、隔週日曜日にお世話させていただきます。

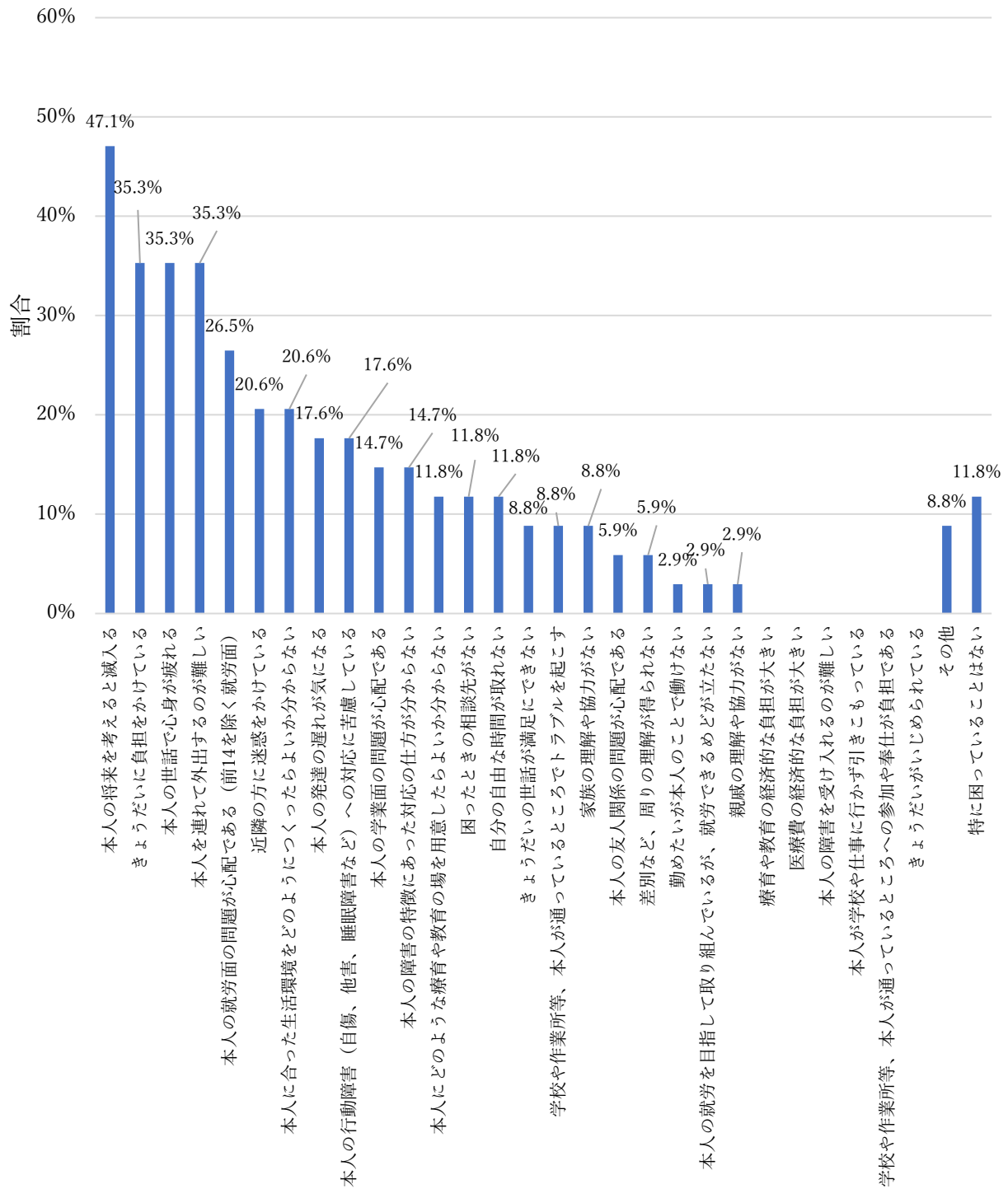
## II 保護者の困りごと

### (1) 保護者が現在困っていること

本人のことで「保護者が現在困っていること」について、困りごとの内容を項目として列記し、選択を尋ねたところ、きょうだいに関する項目、学業や友人関係といった特に学校場面に関わると思われる項目、就労に関する項目、環境調整に関する項目、そして「本人の世話で心身が疲れる」、「本人の行動障害への対応に苦慮している」など保護者自身の負担感を示す項目が多く選択されていることがわかりました。特に、保護者の2人に1人が「本人の将来を考えると滅入る」という悩みを抱え、次いで3人に1人が「きょうだいに負担をかけている」、「本人の世話で心身が疲れる」、「本人を連れて外出するのが難しい」ことで悩んでいることが知られました。

「これこそ私達、放課後等デイサービス事業所の出番ですね！」と強く思いました。お母様がお一人で子育てを抱えないよう私達の存在があります！子ども達の寄り添い方を一緒に考えていきましょう！私達がお母様に寄り添って参ります。ごきょうだいへの配慮も私達事業所の得意とするところです。ペガサスで楽しんで過ごす…そのひとときお母様の大切な時間を過ごしてください。ごきょうだいへの時間にも使って頂けたらと思います。お母さんは一人しかいないけれど、きょうだい皆のお母さん…放課後・土曜日・日曜日、放課後等デイサービス事業所を上手に利用して頂けたらと思います。お家でのチャレンジはなかなか難しい…お母さんの存在が一番の安心で一番甘えん坊出来て、一番遠慮なく自分の気持ちを出せる存在だから…。外出等色々な経験は、慣れた大人と友達と一緒に経験を積んでいきましょう！そして大好きなお父さんお母さんに沢山褒めてもらってまたその次へ。保護者の方と事業所とタッグを組んで「やったー！」「出来た！」の体験を沢山して大きくなあれ♪

将来の事に悩んだ時は、様々な事業所があり沢山の職員がいる青葉会の得意なところを発揮出来ると思います。将来を見通した色々な考え方・方法・情報があるのは大きな味方となっていけるのではないかと感じました。ぜひ、ペガサスを！青葉会をご活用ください。



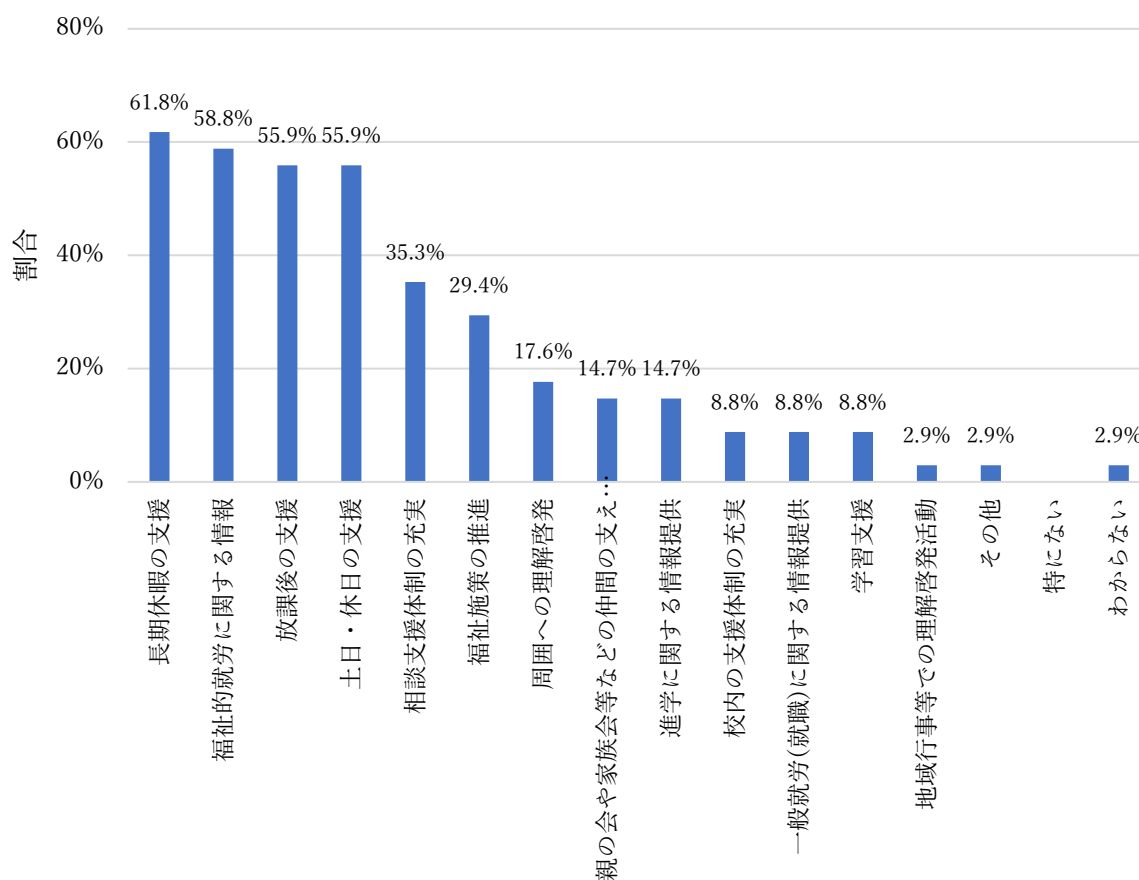
## (2) 子育てをする上で希望する援助

子育てに関連して様々な悩みのあるお母さんたちに「子育てをする上で希望する援助」について、援助の内容を項目として列記し、選択を尋ねたところ、多い順番に「長期休暇の支援」、「福祉的就労に関する情報」、「放課後の支援」、「土日・休日の支援」が選択され、いずれも 50%以上の高い希望のあることがわかりました。

この設問は、柏市が 2020 年に行った特別支援学校の児童・生徒に尋ねた設問と同じものです。柏市調査の結果とペガサスのそれは、同じ傾向でした。このことは、ペガサスだけでなく、特別支援学校では、圧倒的に多数の保護者が子育てをする上で希望する援助として「放課後や休日の活動」と「福祉的就労」を希望していることを示しています。今後、ペガサスに特別支援学校から新しい利用者が入ってきて同じことが言えると考えられます。

現在ペガサスでは、長期休暇期間はより多くの方にご利用いただけますように…と、フリー契約になっております。近年は、なるべく固定契約をしている曜日にペガサスを利用して頂けるように配慮させて頂きながらも、皆様のご協力を頂き平日にお泊り会やお仕事体験等のイベントを企画しています。

「土・日支援」の高いご希望に関しては、ペガサスでは今年度 5 月より隔週で日曜日の営業が始まっています。少人数で大きな WITH US 体育館を独占！好きな時間をのんびりゆったりと楽しんだり、大人と 1 対 1 でたっぷり遊べるひとときの日曜日活動はラッキーDAY！月の支給日数の兼ね合いもあり調整も難しいかもしれませんが、ぜひご活用くださいね。



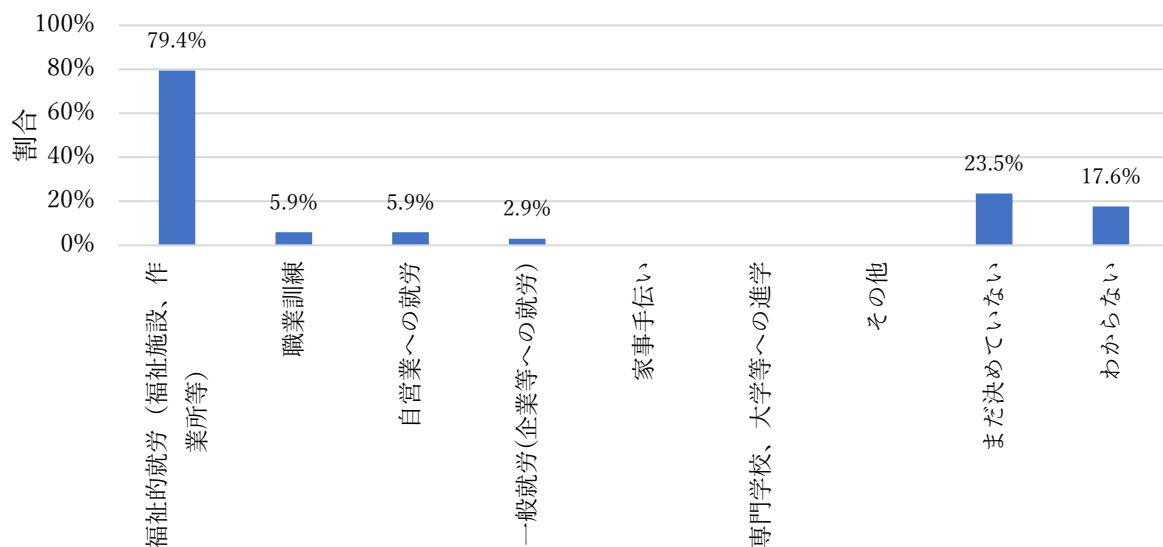
### Ⅲ こどもさんの進路

前項の「保護者の困りごとや希望」で選択する保護者が多かった「福祉的就労に関する情報」について、さらに詳しく尋ねた結果を紹介します。

#### (1) 高校卒業後の進路先の希望

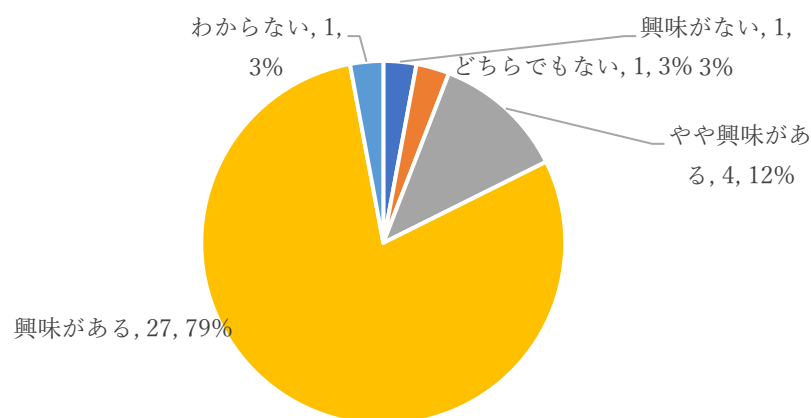
「高校卒業後の進路先の希望」について、進路先を列記し、選択を尋ねたところ、いわゆる「企業就労」ではなく、10人に8人が「福祉的就労（福祉施設、作業所等）」を選択されました。

その一方で、子どもの年齢が低いほど「まだ決めていない」や「わからない」の選択が見られています。

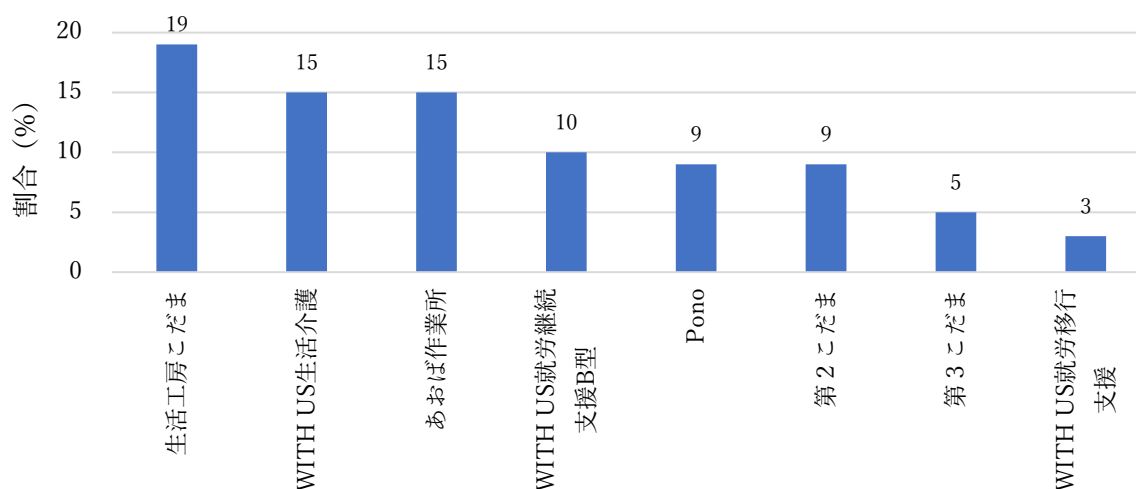


#### (2) 興味のある青葉会の作業所

「福祉的就労（福祉施設、作業所等）」を選択された方に、「高校（高等部）の卒業後の進路先として、青葉会の作業所に興味を持っているか」尋ねると、「興味がある」及び「やや興味がある」を合わせると91%もの保護者が興味を示されていることがわかりました。



次いで、「青葉会の作業所名」を列記し、具体的に希望事業所を尋ねたところ、「生活介護の事業所」が上位を占めていることが知られました。



ペガサスは、青葉会の他の放課後等デイサービスと比べて特別支援学校の児童生徒が多い事業所です。今回のアンケートにより、ペガサスを利用されるお母さんたちは、

1. 「本人の将来を考えると減入る」をはじめ、子育てに関連して多岐にわたる悩みがあること
2. 最大の関心事は、「長期休暇の支援」、「福祉的就労に関する情報」、「放課後の支援」、「土日・休日の支援」であること
3. 卒後の進路として、青葉会の作業所、特に生活介護の事業所に関心のあること

がわかりました。

私達社会福祉法人青葉会は、就学前のお子さんから成人事業所まで幅広く事業所があります。将来どのような進路を考えていったらいいのかと思う時、大人の事業所での色々な情報があります。「福祉的就労に関する情報」や「どのような進路があるのか」「どのように考えていったらいいのか」等、青葉会の情報に限らず様々なご相談を受けていける事、これこそ青葉会の強みだと感じています。

ペガサスは、お母さんたちのニーズに応じて、事業所が目指す姿を組み立てています。皆様からご回答いただいたご意見をしっかりと受け止め、青葉会の成人事業所とも連携して、今年度中に実践していきたいと思っています。

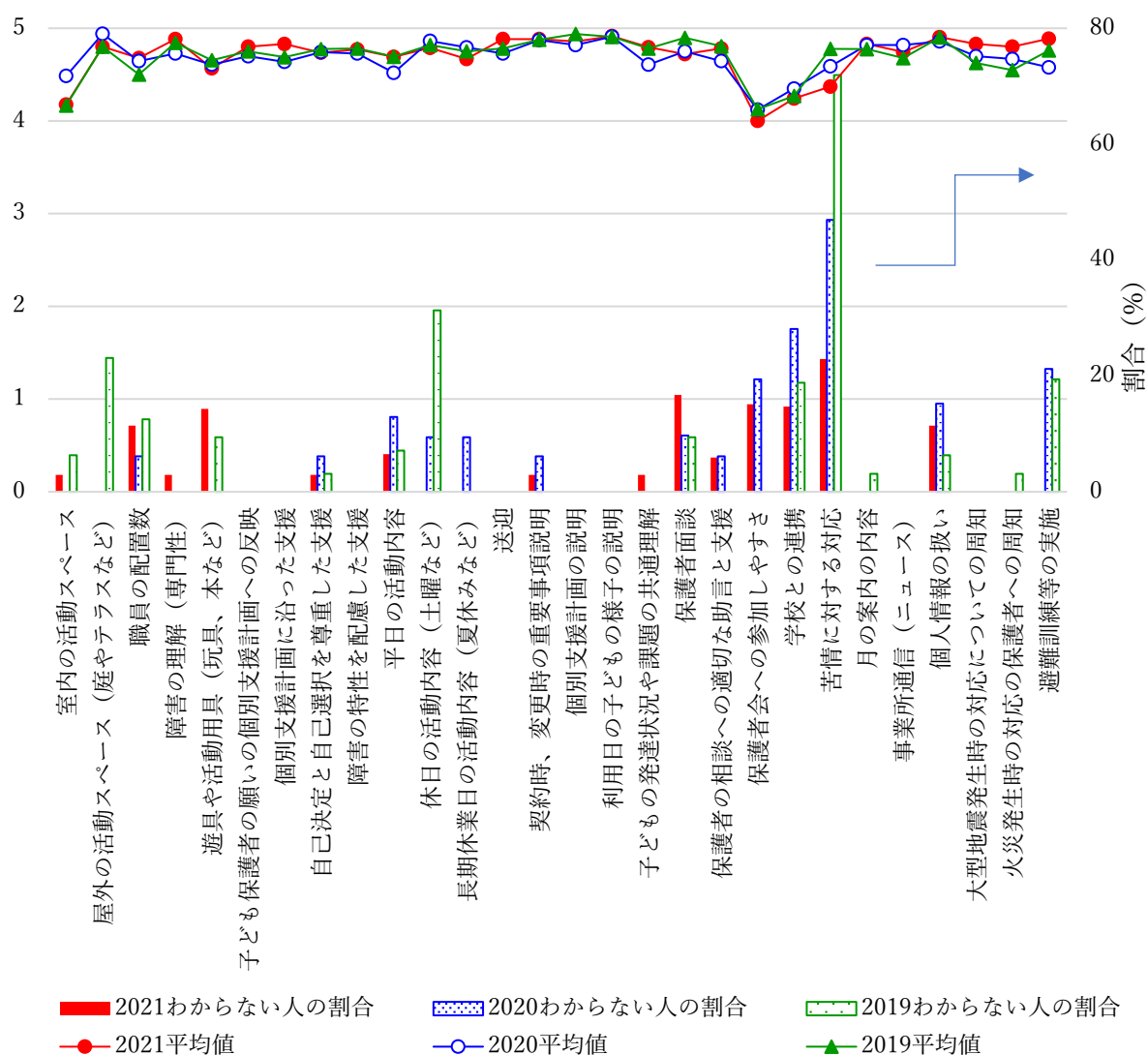
日々、子ども達が楽しみに来てくれるペガサスとなっていますように…、お母さんが安心して送り出していただけ的事业所へなっていけますように…と精進してまいります。

また、まだまだ続くコロナ禍での活動ですが、感染防止に努めながらお母さんお一人おひとりとお話ができる機会を作ってまいりますのでいつでもお話しくださいね。

(自閉症サポートセンター ペガサス職員一同)

## 6. 第2ペガサス

### I 今年度の活動



日々、第2ペガサスの運営にご協力いただき、ありがとうございます。

第2ペガサスでは、昨年度に引き続き、今年度もアンケートをお配りした全ての方から回答をいただくことができました。また、「わからない」と回答された方が一人もいらっしゃらなかった項目がいくつもあります。これは、私たち第2ペガサスが、7年前に営業を開始し、子どもたち、保護者とたくさんのやり取りをして、積み上げてきたことの一つの成果と感じております。

さらに、全体の満足度平均は4.5点（5点満点評価）と昨年度に引き続き、高い評価をいただきました。特に「利用日の子どもの様子の説明」、「個人情報の扱い」、「避難訓練の実施」については、満点に近い評価をいただきました。引き続き、満足いただけるように進めてまいります。

一方で、「室内の活動スペース」、「学校との連携」、「苦情に対する対応」については、例年、他の項目と比較しても十分な満足度とは言えず、「学校との連携」、「苦情に対する対応」については、「わからない」と答えた方の割合も高くなります。事業所としても対策が必要と感じております。

アンケート結果で他の項目と比較して評価の低かった項目と、「わからない」と答えた方が多かった項目についてコメントさせていただきます。

#### (1) 室内の活動スペース

この項目は、他の項目と比べて比較的評価が低かった項目です。同じ建物の同一フロアで活動している青葉会の事業所（以下、トライアングル）の活動室を上手く活用し、コロナ禍でも子どもたちが余裕を持って活動できる工夫を進めていきます。トライアングルには、普段と異なる遊びの空間があり、また、見慣れない玩具や本もたくさんあります。子どもたちの利用時間が長くなる長期休み（夏休み等）や休日活動の場面では、トライアングルのキッチンを使った調理活動や、季節のイベント（ハロウィン、縁日等）で積極的に活動場所を広げ、いつもよりももっと楽しく過ごせる環境を提供しています。

#### (2) 保護者会への参加のしやすさ

他の項目と比べて、毎年比較的評価が低く、また「わからない」と回答した方が多かった項目です。コロナ禍でさらに保護者会の開催ができなかったこともあり、今年はお家族に開催方法についてお尋ねしました。その結果は、後段にてご紹介します。

#### (3) 学校との連携

この項目も、他の項目と比べて、毎年比較的評価が低く、また「わからない」と回答した方が多かった項目です。

今年度より、支援計画を作成する際に記入していただく、親の願いの書式に「学校との連携について」の項目を追加しました。日々の利用にあたり、学校と連携（引継ぎ）をして欲しいことがありますらご記入ください。また、連絡帳や送迎時などでお知らせいただいても構いません。いつでもご相談下さい。自分でその日あったこととお話しできる子ばかりではありませんので、学校へお迎えに行った際には、学校の先生方と丁寧な引継ぎを心がけてまいります。

#### (4) 苦情に対する対応

「わからない」と回答される方が減ってきたものの、今年のアンケートでも20%近くの方が「わからない」とされました。第2ペガサスでも、ペガサスと同じく「苦情相談」について、新規の契約時や、年度初めの保護者会の中で重要事項説明書に沿ってお話しさせていただいています。事業所に、ご家族やお子様からの相談、苦情等に対応する窓口を設置し、ご家族からご要望、苦情等があれば、ご家族、お子様の立場に立って、誠実かつ迅速に対応し、改善に努めさせていただきます。

窓口の担当職員だけでなく、送迎でお会いした職員や児童発達支援管理責任者、管理者にいつでも何でもご相談ください。



## II 子どもたち、保護者の皆様の第2ペガサスへの想い（心の声）

いつも第2ペガサスの運営を支えていただき、ありがとうございます。

昨今のコロナ情勢において、以前のような多様な外出活動は出来ず、また、感染防止の為、決まり事（制限）が多い過ごしの中、子どもたちは本当に楽しめているかな、満足しているかな、と職員も悩み感じる日々です。

保護者の皆様との関わりでも、個別面談や保護者会が開催出来なかったことで、連絡が不十分になってしまうことも多くあり、ご不便、ご迷惑をお掛けしたこともありました。その中で、今回、皆様の本音を聞いてみよう、と思い、第2ペガサスの追加質問とさせていただきました。

厳しい意見もきちんと受け止めよう、と覚悟していましたが、皆様の意見には、「第2ペガサスは子どもにとっても、親にとってもなくてはならない場所」、「安心して預けられている」「第2ペガサスが大好き」等、たくさんの感謝の気持ちが綴られており、私たち職員はとても暖かい気持ちとなり、また、励みとなりました。

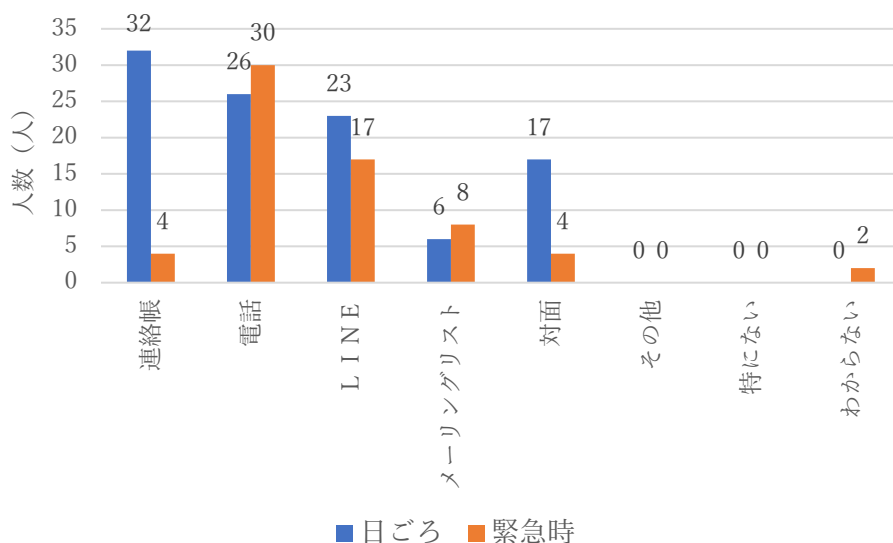
コロナ禍でたくさんの壁にぶつかりながらも続けて（営業してきて）良かったと感じることが出来ました。今回はいただいた第2ペガサスへの想い（心の声）の一部を抜粋して紹介させていただきましたが、他にも、貴重なご意見をたくさんいただいています。保護者アンケート全体を含めて、今後も子どもたちや保護者の皆様の期待に応えられるよう、日々、精進して参ります。ありがとうございました。

## III 連絡手段や保護者会

### （1）第2ペガサスとの連絡手段として希望される手段

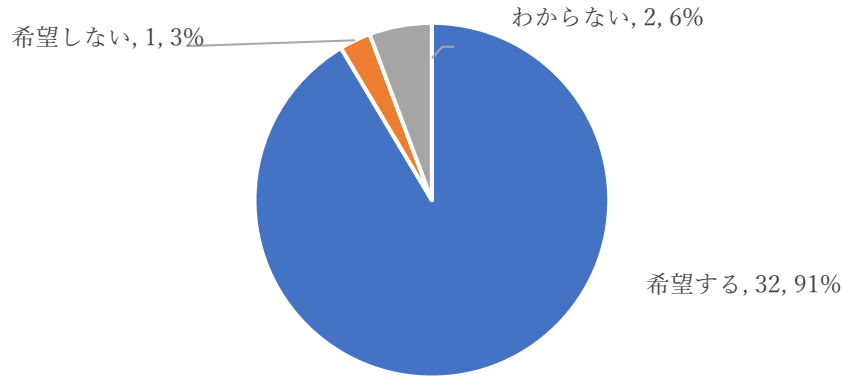
「第2ペガサスとの連絡手段」について、希望される手段を列記し、選択を尋ねたところ、且ごろでは、多い順番に「連絡帳」、「電話」、「LINE」、「対面」となりました。また、緊急時では、主として「電話」と「LINE」が集中して選択されました。

日ごろはご家族のご希望に合わせた多様な連絡手段、緊急時は電話及びLINEの希望が多いことがわかりました。



## (2) 第2ペガサスとの連絡手段として、LINEの希望

(1)の結果を踏まえて、第2ペガサスとの連絡手段として、LINEを使うことについて希望を尋ねたところ、91%の方から支持がありました。この結果を踏まえて、希望されない方に配慮しながらも、LINEによる情報提供を進めていきます。

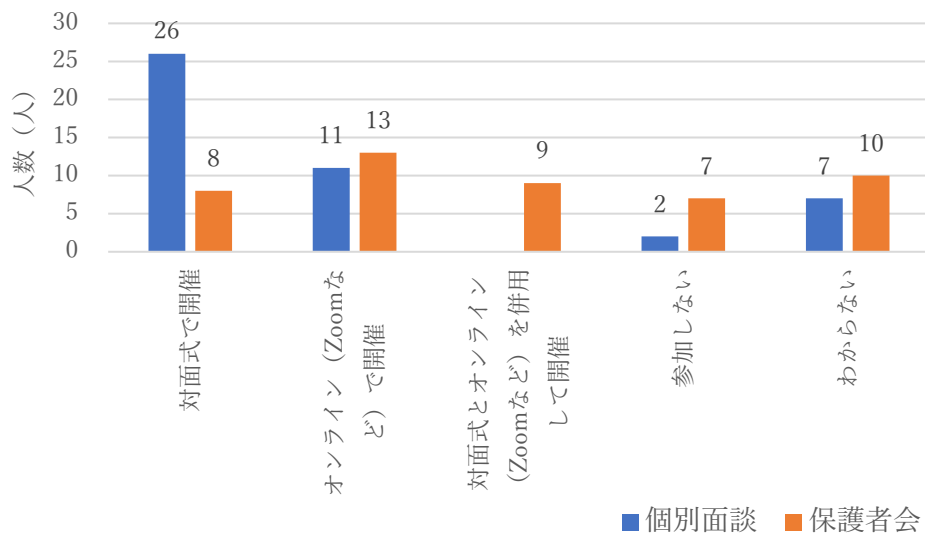


## (3) コロナ禍での個別面談や保護者会の開催方法についての希望

「コロナ禍での個別面談や保護者会」について、希望される開催方法を列記し、選択を尋ねたところ、個別面談の開催方法として「対面式」を選択する人が圧倒的多数であるものの「オンライン」を選択する人が一定数いらっしゃることもわかりました。

保護者会の開催方法は、「参加しない」及び「わからない」とされる方が一定数いらっしゃる中で、「オンライン開催」を選択される方が多いことがわかりました。

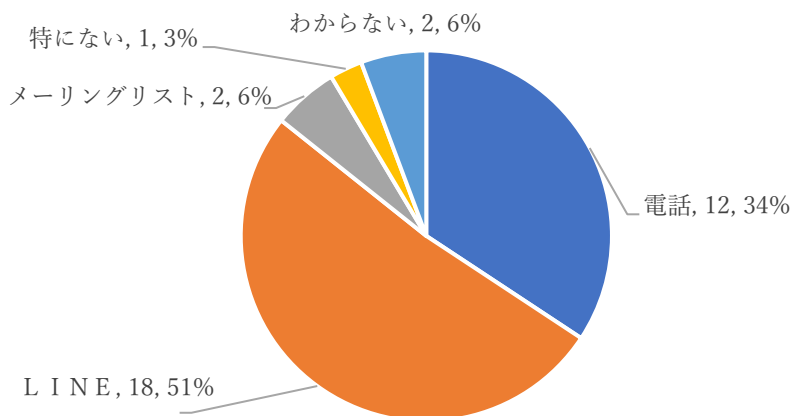
今回いただいた多様なご意見を踏まえて、コロナ禍ではありますが、個別面談や保護者会の開催を検討していきます。



#### IV 利用のキャンセルがあったときの案内

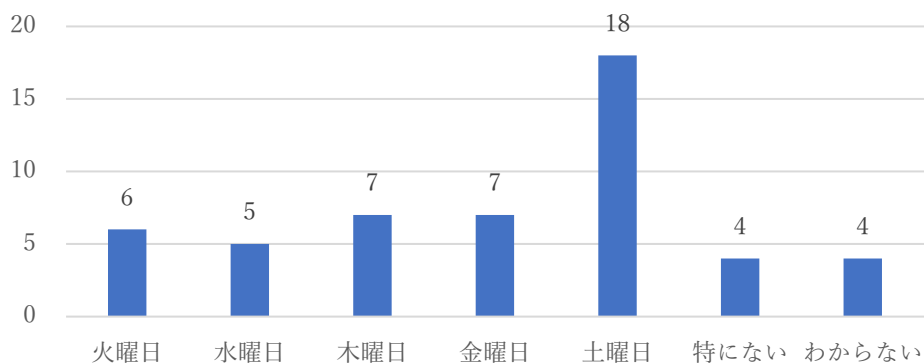
##### (1) 希望する案内方法

「利用のキャンセルがあった」とき、希望される案内方法を列記し、選択を尋ねたところ、2人に1人が「LINE」、3人に1人が「電話」を選択されました。



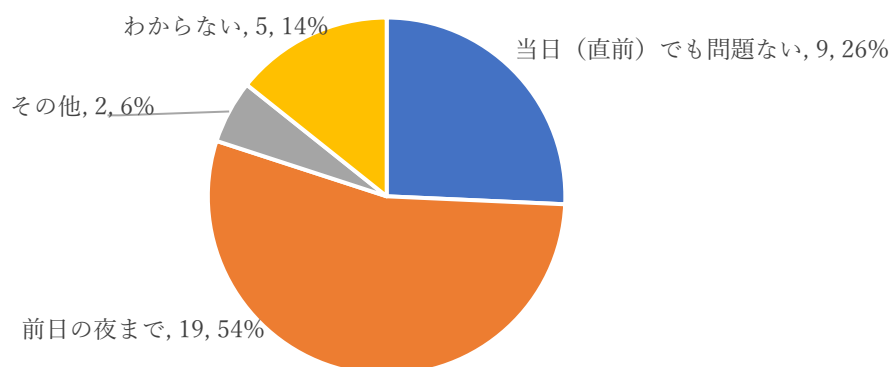
##### (2) 学期中で（長期休みを除く。）キャンセルがあった場合に、利用可能な曜日

「学期中で（長期休みを除く。）キャンセルがあった」場合、利用可能な曜日を尋ねたところ、土曜日だと都合がつく方が多いことがわかりました。また、平日であっても、数名の方が利用可能であることもわかりました。キャンセルがあった場合には、都度、ご連絡を差し上げます。



### (3) キャンセルの案内は、いつまでなら可能か

「キャンセルがあった」場合、いつまでなら可能か尋ねたところ、2人に1人が「前日の夜まで」、3人に1人が「当日(直前)でも問題ない」を選択されました。



全てのご家族に、記名式で、日ごろや緊急時の連絡手段や、個別面談や保護者会の開催方法、さらにキャンセルがあったときの案内についてお聞きしました。

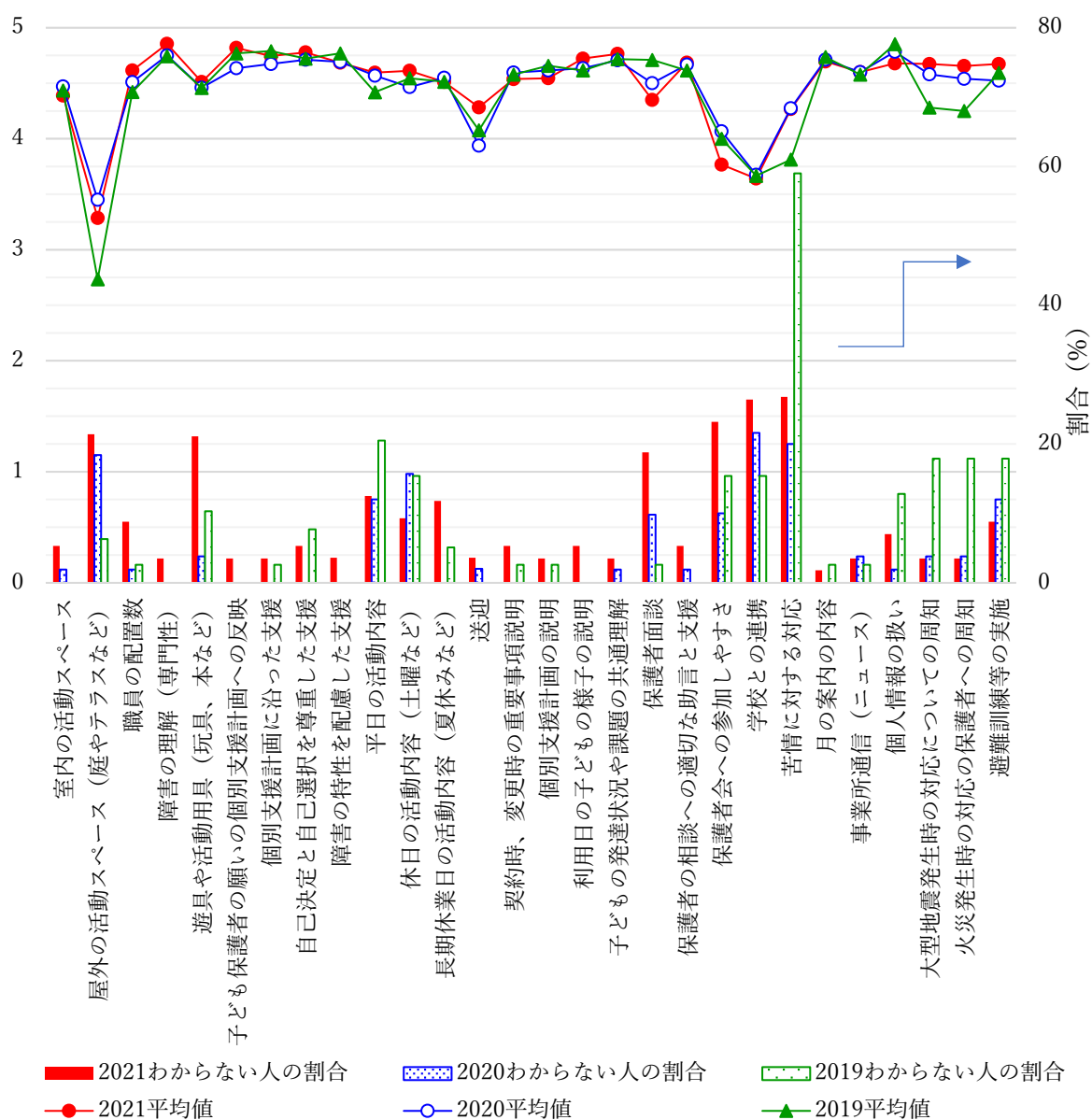
多数の方から選択された手段については、選択されなかった方に配慮しながらも進めていきたいと考えています。また、キャンセル時のご案内も、ご回答いただきました方にご案内差し上げます。さらに追加して、ご希望がございましたら、遠慮なく職員までご連絡ください。

今年度もコロナ禍により、保護者面談や保護者会の開催が満足に行えず、事業所と保護者間での共有や情報提供が不十分であったと感じております。開催については、今後のコロナの流行の状況を見ながら、検討していきます。子どものこと、家庭のこと、学校のことなど、気になることがありましたら、ご相談はいつでもお受けしております。お気軽にご連絡ください。

(第2 ペガサス職員一同)

## 7. ジュニアペガサス

### I 今年度の活動



結果の概要についてご報告させていただきます。

折れ線グラフを見ていただきますと、ほとんどの項目で4~5点（やや満足~満足）と高い評価をいただきました。

ここでは、アンケート結果では他の項目と比較して特に評価の低い項目と、「わからない」と答えた方が多かった項目についてコメントさせていただきます。ジュニアペガサスは、新しい契約者が多かったものの、コロナ禍のため保護者会が開催できませんでした。そのためか、今年度新しく契約された方は「わからない」とする回答が多かったようです。

### (1) 屋外の活動スペース

全ての項目の中で、評価が低かった項目となりました。事業所には屋外の活動スペースがないため、評価としては、4点未満（平均点では、やや満足～どちらでもない）となり、「わからない」と答えた方も多くなりました。

敷地内に遊べる屋外スペースがないため、逆に屋外活動を意識して取り組んできています。そこが、ジュニアペガサスの他にはない強みです。今年度も、「虫取りに行こう」、「公園に行こう」、「広場に行こう」、「買い物に行こう」など外での活動機会を多く取り入れて活動しています。

### (2) 遊具や活動用具

コロナ禍で保護者会を開けていないため、実際に事業所内を見学していただけておらず、わからないとなっているのだと思います。毎月お送りしている案内やニュース等で活動内容をお知らせしたり写真を掲載しておりますので、ぜひお子様と一緒にご覧いただきながらお話しを聞き出してみてください。

ジュニアペガサスオリジナルの滑り台は、松葉町に児童デイサービスが開設された 2006 年に、岡山で若松かやのさんたちのグループが使われていた感覚統合運動用の滑り台をそのまま同じく実現されたものです。世界で岡山とジュニアペガサスにしかありません。

また、松葉町の事業所は、今は亡き漫画家の戸部けいこさんが何度も訪ねられて「光とともに・・・」の光君が通うおひさまハウスの活動場面としてスケッチされたところでした。

きっと「ここにねえ、おもちゃがたくさん入っててねえ、僕はミニカーで遊ぶのが好きなんだ」という具合に、子どもたちの様子が想像でき楽しいエピソードを引き出すきっかけになることと思います。



### (3) 送迎

コロナ禍での送迎のため、消毒や換気に気を配りながら対応しております。

また、たくさんのお母さんご自身で送迎をしてくださっていることに感謝しております。ご協力ありがとうございます。

### (4) 保護者面談や保護者会

面談につきましては、本来でしたら支援計画をお渡しする際に行っていましたが、昨年コロナ禍のため、なかなかゆっくりお話しできておりません。今年受給者証の更新の時期にサポート加算の申請シートの提出を市から求められておりますため、換気を十分にしながらお母様とご一緒に申請シート作成の場を持ち、お子様について話をする機会を設けています。

また、今年事例検討会で希望者にお集まりいただいて保護者会的なおしゃべりできる機会を予定していましたが、これもまた緊急事態宣言が出て、開催が予定通りにできなくなりました。チャンスがあれば、機会を作りますので、ぜひ、その時には皆様ご参加ください。

いつでもお電話等でもご相談をお受けしておりますので、面談や保護者会の代わりとしてお気軽にご連絡ください。お待ちしております。

## (5) 学校との連携

こちらに関しては、4点未満(平均点では、やや満足～どちらない)という評価と「わからない」と回答された方が多くありました。

たくさん小学校に送迎に行くため、引き取り時には健康状態の確認はしますが、すぐに次の学校に向かわねばならず、学校の先生と毎日お話をゆっくり何う事は難しい状況です。

しかし、気になることが生じた場合には電話でのやり取りやケース会議で学校や他事業所と話し、お母さんたちにお伝えしております。また、もしお母様の方で具体的に学校と共有してほしいことがあり連携を希望される場合はご遠慮なくお話しください。積極的に対応いたしますのでいつでもご相談ください。これからも丁寧に連携をとってまいります。

## (6) 苦情に対する対応

ジュニアペガサスでも、ペガサスと同じく「苦情相談」について、新規の契約時や、年度初めの保護者会の中で重要事項説明書に沿ってお話しさせていただいています。事業所に、ご家族やお子様からの相談、苦情等に対応する窓口を設置し、ご家族からご要望、苦情等があれば、ご家族、お子様の立場に立って、誠実かつ迅速に対応し、改善に努めさせていただきます。

窓口の担当職員だけでなく、送迎でお会いした職員や管理者にいつでも何でもご相談ください。

## II 家庭での『にやりほっと』なシーン

おうちでのかわいらしい『にやりほっと』なエピソードを共有させていただきます。ありがとうございました。今回のアンケートでいただいたご家庭での『にやりほっと』集は、33ページとなりました。

『にやりほっと』な目線で、子供の行動や発言をとらえられるようになると、ちょっとした『いたずら』や『失敗』もふっと力が抜けるかわいいでき事に見えてきますよね。

そうすると、あれあれ不思議♡♡♡ 優しい言葉かけをしている自分に気づくと思います。すると、子どももかわいい笑顔を返してくれますよ。

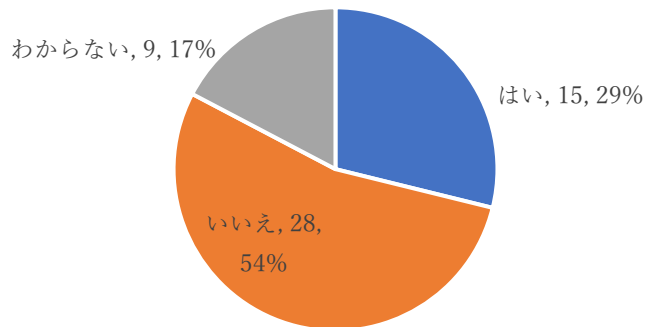
ジュニアペガサスにおきましても、「利用者のマイナス面ばかりに気を取られることなくプラス面に注目することによって、できること、したいことを遊びを通じて支援する」、「にやりほっとを見つけられる心のゆとりをもち、職員が笑顔でいられる職場になる」、「ご家族にもにやりほっとを伝える事で心のゆとりができる」ことに取り組んでまいります。

ぜひ、おうちでも、みんなで『にやりほっと』なことを見つけてほっこり笑顔を手に入れてくださいね～。

### Ⅲ 職員への相談

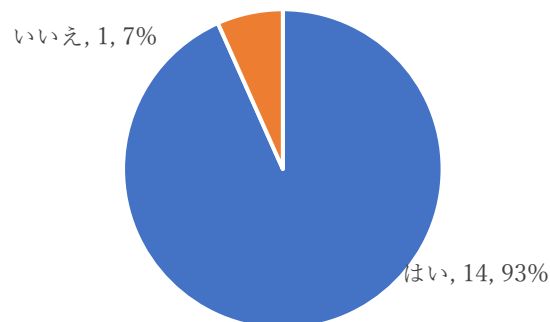
#### (1) 子育てのことやお子様のことで職員に相談したいことの有無

「子育てのことやお子様のことで職員に相談したいこと」があるかどうか尋ねたところ、30%の方から相談があると回答をいただきました。相談したい方がすごくたくさんいらっしゃったことに驚きました。



#### (2) 電話や面談などで個人的な相談を希望するか

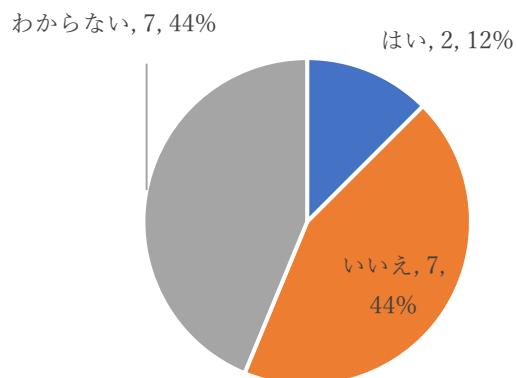
「相談したいことがある」と答えた方に、相談の方法を尋ねたところ、ほとんどの方が「電話や面談などで個人的な相談を希望」されていることがわかりました。



#### (3) 事例検討会や保護者会など他の保護者の方も交えた相談を希望するか

「相談したいことがある」と答えた方に、「他の保護者も交えた保護者会など」の相談の希望を尋ねたところ、希望される方は少ないことがわかりました。

前問と合わせますと、コロナ禍であっても工夫をしてご相談に応じていきいと考えています。





今回のアンケート結果を参考にさせていただき、子どもたちがより通いたくなる楽しくて笑顔が絶えない場所として、また、コミュニケーションの経験を遊びの中でしっかりと積んでいける場所として、これからもジュニアペガサスの活動が子どもたちにとって大切な時間となるように丁寧に接していきたいと思えます。

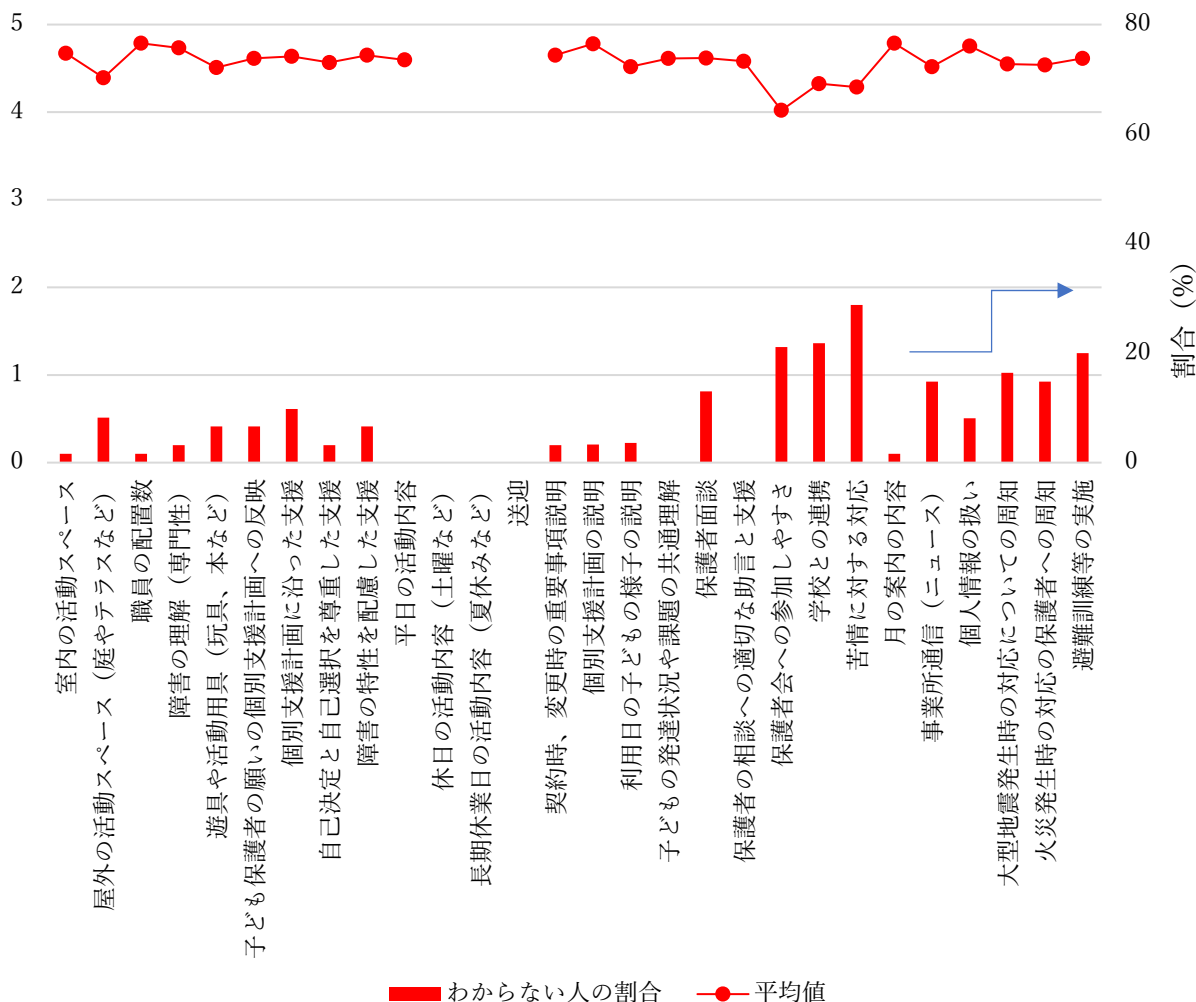
また、ジュニアペガサスの追加質問の中で、「相談ごとがある」と回答されている方がいらっしゃいました。いつでも対応できますのでざっくばらんにお話ししましょう。ご連絡をお待ちしています（宜しければ、ジュニアペガサスからご連絡させていただきます）。

新型コロナウイルスの流行が一段落しましたら、美味しいコーヒーをごちそういたしますので、ご相談だけでなく、にやりほっとのエピソードも直接お聞かせください。

(ジュニアペガサス職員一同)

## 8. リトルペガサス

### I 今年度の活動



青葉会の放課後等デイサービスで10年来調査してきました保護者アンケートに、今年からリトルペガサスも参加しました。ご協力いただきありがとうございます。

活動の満足度を聞く項目でほとんど4点～5点（やや満足～満足）と高い評価をいただきました。感謝申し上げます。しかし、項目によっては「わからない」と答えられた方が見られました。特に、コロナ禍で職員の説明機会が限定されてしまったためか、4月に新しく契約された方は「わからない」とする回答が多かったようです。

ここでは、アンケート結果の他の項目と比較して評価が低かった項目と、「わからない」と答えた方が多かった項目についてコメントさせていただきます。

#### (1) 保護者面談

昨年度、今年度の前期については新型コロナウイルス感染症の蔓延防止措置として、緊急事態宣言中は面談ができない期間があり、保護者の皆様には大変ご不便をお掛けしました。また、活

動内でお話させていただくことや短時間での相談等での感染防止にご協力いただき、ありがとうございました。リトルペガサスでは年に2回、個別支援計画をお渡しする際に面談のご希望をお聞きしています。Zoomを使ってのリモート面談もできるようになりました。後期の個別支援計画もこれからお渡しさせていただく予定です。ご希望がありましたら遠慮なくお知らせください。新型コロナウイルス感染症が落ち着いてまいりましたら、感染対策を徹底して対面での面談も検討させていただきます。

## (2) 保護者会への参加のしやすさ

昨年度については保護者面談同様、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止措置として保護者会が開催できておりませんでした。今年度は母子育成保育教室（くろまめ、えだまめ、あずき、おたふくまめ）は短時間の保護者会を開催させていただきましたが、本来であればお母さん方からご意見をいただいたり、談話する時間等もある保護者会を開催できていないため入室してから現在まで保護者会に参加する機会がなかったかと思われます。現在の段階では大勢での談笑は控えていますので、個別にご説明やご意見を聞かせていただく形になっています。新型コロナウイルス感染症が落ち着いてまいりましたら、感染対策を徹底して開催を検討していきたいと考えています。

## (3) 学校との連携

「学校」とのワードでしたので就学まではまだ先のイメージがあったため、「わからない」の回答をされた方もいらっしゃったかもしれません。でも、まだまだ先のことではなく、就学でつながっていく重要なキーワードです（後述の「就学相談」の項において、保護者の意識調査の結果をご覧ください。）。「やや満足」または「満足」と回答して下さった方は、就学を意識されたり、併用園との連携について回答をいただいたことも想定されます。

ご家族同意のもと、園の先生方と連携をさせていただいています。また、リトルペガサスと園を併用されている方には入室の際、リトルペガサスの職員が園を訪ねて園の先生方と園での集団生活について打ち合せさせていただく「保育所等訪問支援」のサービスをご案内させていただいています。保育所等訪問支援は、園と調整してからとなりますが、時期に関係なくご利用できますので、ご希望がありましたらお声をお掛けください。

また、就学相談に関しても情報提供をまいります。

## (4) 苦情に対する対応

リトルペガサスでも、「苦情相談」は、入室の際にお渡しさせていただいているリトルペガサスのしおり（重要事項説明書）に記載させていただいています。事業所に、ご家族やお子様からの相談、苦情等に対応する窓口を設置し、ご家族のご要望、苦情等があれば、ご家族、お子様の立場に立って、誠実かつ迅速に対応し、改善に努めさせていただきます。

窓口の担当職員だけでなく児童発達支援管理責任者や施設長にいつでも何でもご相談ください。

## (5) 大型地震・避難訓練等の防災

年2回、青葉会全体で行う避難訓練と各事業所で行う避難訓練があります。母子分離育成保育教室（らっかせい）とグループ療育教室は定期的に避難訓練を実施し、防災頭巾を被ることを経

験したり、非常階段を使用した避難訓練を実施しています。今後はどの曜日に通室しているお子様や保護者の方にも訓練を経験していただけるよう取り組んでまいります。

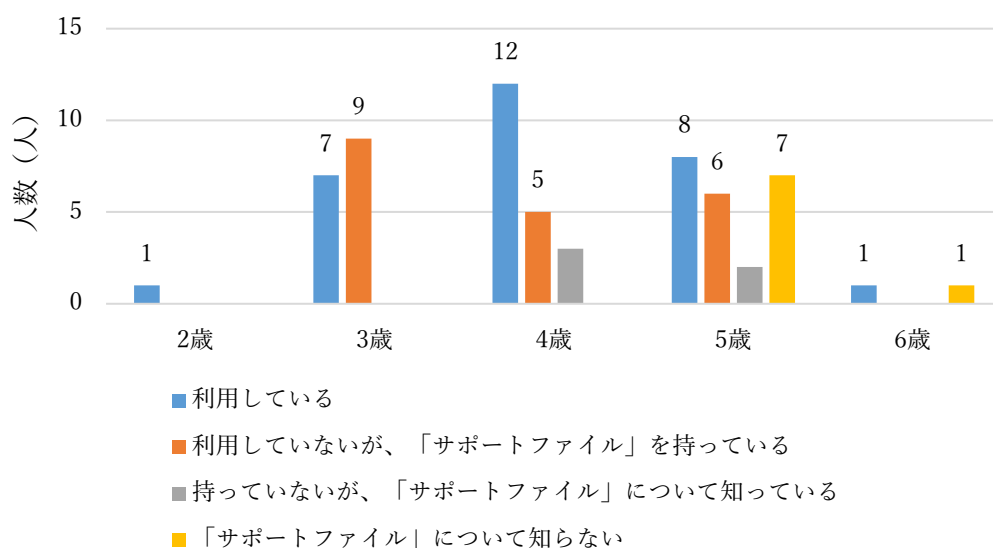
また、大型地震発生時の対応については、入室時の面談では詳しくご説明をする機会があまりないと思いますのでこちらも避難訓練時に合わせてご説明の機会を作らせていただきます。

## II サポートファイル

### (1) サポートファイルの利用

5 ページでも紹介しましたサポートファイルの利用について、リトルペガサスの利用者にさらに追加してお尋ねした結果をご紹介します。

「サポートファイルの所持状況」について、所持状況を列記し、選択を尋ねた結果を次図に示しました。サポートファイルを入室資料として位置付けたり（面談時に保護者持参）、計画等の資料を提供する際にサポートファイルに綴じるよう促すなどの取り組みをしているにも関わらず、全員が「利用している」との認識には至っていません。年齢によってそのバラツキも見られました。



### (2) 最初にサポートファイルをもらったところ

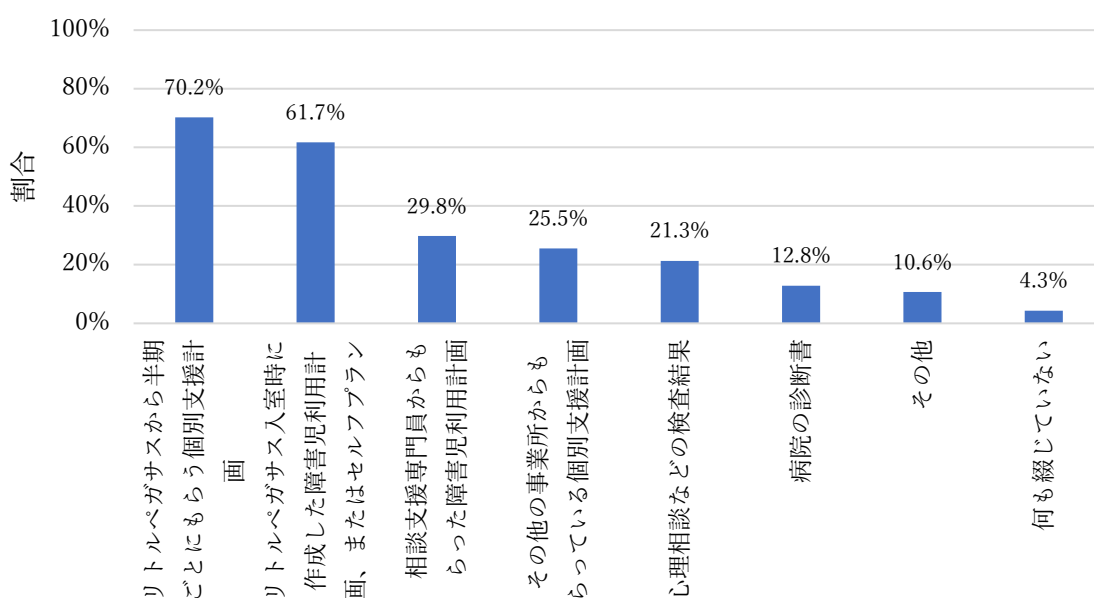
他の療育機関や障害児相談支援を受けていらっしゃる子どももいますが、ほとんどの方が「リトルペガサス」でサポートファイルをもらったと回答されました。

	度数	有効パーセント
リトルペガサス	45	95.7
つばさ学園	1	2.1
市役所	1	2.1
合計	47	100.0

### (3) サポートファイルに綴じているもの

「サポートファイルに綴じているもの」を列記し、選択を尋ねたところ、「リトルペガサスから半期ごとにもらう個別支援計画」70%、及び「リトルペガサス入室時に作成した障害児利用計画、またはセルフプラン」62%を多数の方が選択されました。その他の選択として「他の事業所の個別支援計画」や「心理相談などの検査結果」、「病院の診断書」も見られました。

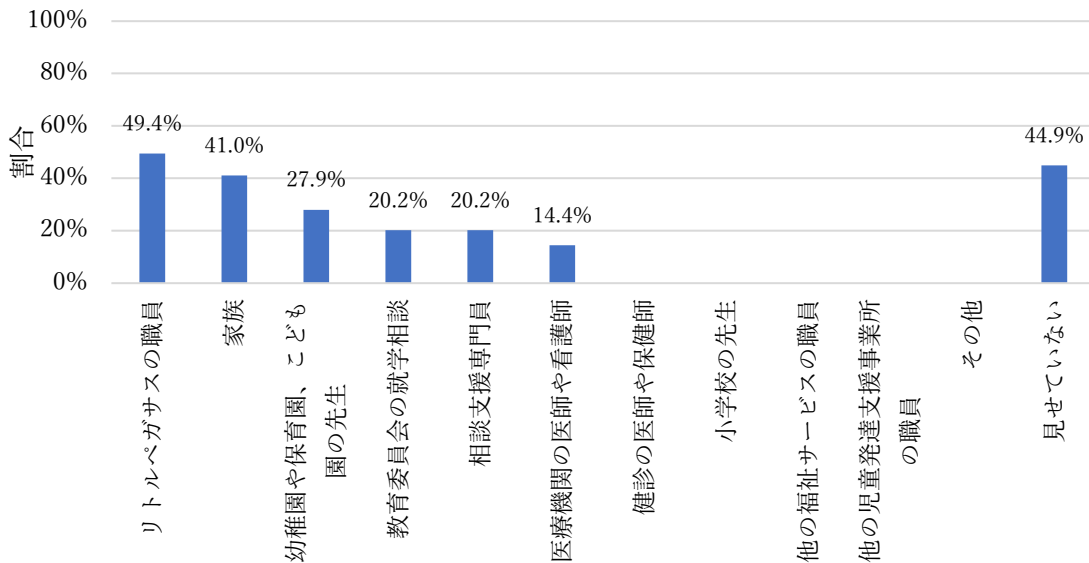
事業所から『個別支援計画を綴じてください』とお伝えしても30%の方が「綴じていない」とされたことに、事業所と保護者とのサポートファイルの受け止め方にギャップが見られます。サポートファイルの利用を推進して行くために、お母さんたちにサポートファイルの目的やメリットを的確に理解していただけるよう、より丁寧に説明していくことから進めて行きたいと考えています。



その他は、「各種申請書や契約書のコピー等」、「事業所のパンフレット、しおり」、「服薬の記録」、「保育園の面談など」。

### (4) サポートファイルを見せた人

「サポートファイルを見せた人」を列記し、選択を尋ねたところ、「リトルペガサスの職員」49%、「家族」41%に多数の方が選択した一方で、「見せていない」が45%いらっしゃったことに注目しています。前述した(1)及び(3)と同じく、リトルペガサスでは、利用者全員に取り組んでいるサポートファイルですが、ご家族のサポートファイルに対する意識や理解にバラツキがあることが、この設問でも明らかとなりました。



#### (5) サポートファイルの使い勝手や期待することなど

次に、「サポートファイルの使い勝手や期待することなど」についていただいた自由意見をそのままご紹介します。

- いつ、どのような目的で使うのかまだ理解できていません。発達障害の知識がない方に見せるとして、情報量が多く、どこを見てほしいか伝えたほうがいい、ただ見せても結局分からないのでは…という思いがあります。
- あんまりつかっていません。自分から見せていくものなのかいまいち使い方がわかりません。
- 印刷が大変なので、更新すべきページは準備して欲しい。
- 手がきが大変なので、PC 入力、保存ができれば良いと思いました。もっと言えば入力フォーマットがあって、そこから様々な様式で出力できたら助かりそう。(A4 1 枚に要点をまとめられる、とか)
- 何をとじて良いかわからない、書くのを忘れてしまう。
- 成長と共に課題は変化するので、「課題・問題」→「取り組み」→「結果」を保護者や担当職員以外が見てもわかるような仕組みがあるとサポートファイルを活用しやすいように思います。
- 家族に見せた時分かりやすいように書いてほしい。
- ページ数が多く、内容も変わっていくので（修正が大変）。園には A4 1 枚にまとめたものを渡しています。Web 上で編集できると便利かなと思います。
- これから、使い方や活用方法など検討したいと思います。
- サポートファイルに情報を書き込んでも、相談する場所ごとに指定の書式（用紙）に書くので、自分が振り返るようになってしまっている。共有してコピーするところもあるが、こちらから読んでほしいところをお願いできそうな感じではない。
- 他市ではありますが、このサポートファイル 1 冊で小学校に行っても使えるよう、広まるようになってほしいなと思います。
- もう少し他の市にも認知されればと思います。

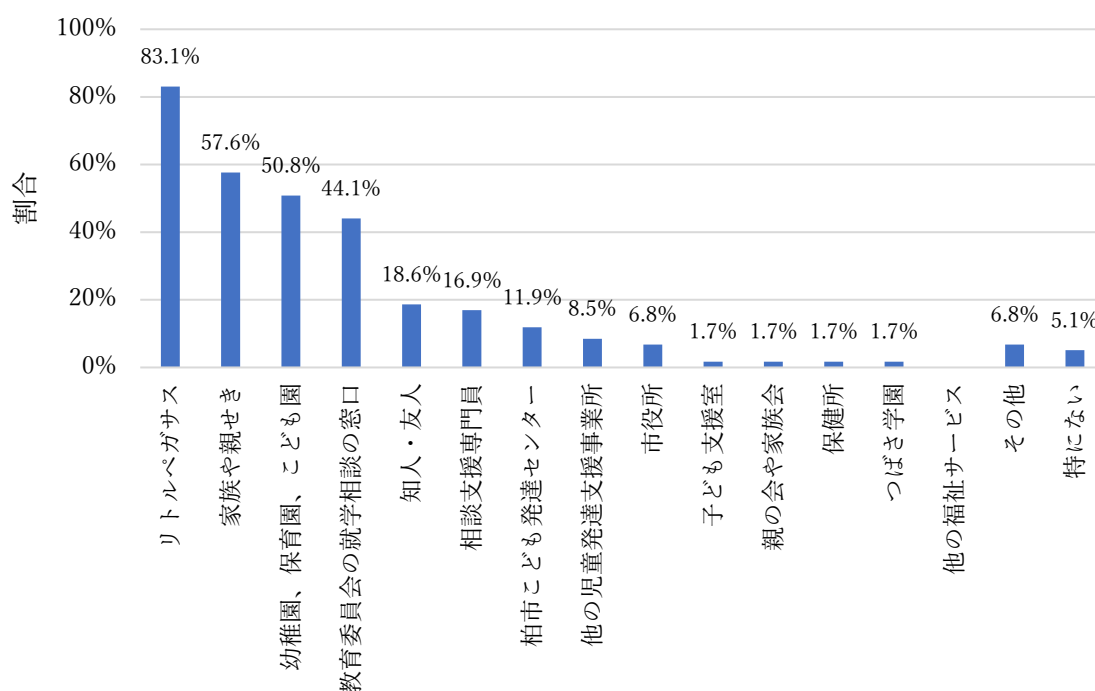
### Ⅲ 就学相談

#### (1) 就学の相談先

リトルペガサスに通われていらっしゃる方の 83%が就学の相談先として「リトルペガサス」をあげられていることがわかりました。

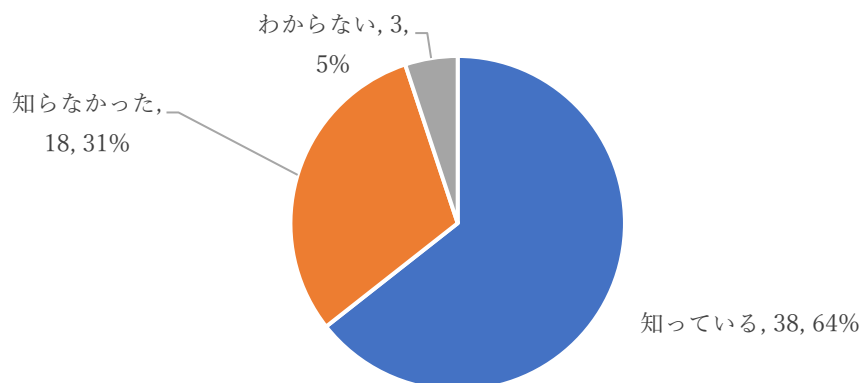
次いで、多かったのが「家族や親せき」58%、「幼稚園、保育園、こども園」51%、「教育委員会の就学相談の窓口」44%でした。

リトルペガサスでは、この意向にお応えして、一人ひとりのご相談に対応して行くとともに、幼稚園や保育園、こども園、教育委員会と連携して情報を提供してまいります。



#### (2) 教育委員会の就学相談

就学の相談先として4番目に多く支持された「教育委員会の就学相談」について、さらにお尋ねした質問の結果をご紹介します。教育委員会の就学相談を「知っている」人は全体の3分の2でしかなく、残りの3分の1の方が「知らなかった」ことがわかりました。



これ以降は、(2)で教育委員会の就学相談を「知っている」とされた方のみを対象に質問した結果です。

### (3) 教育委員会の就学相談を受けられると知ったのはいつ頃

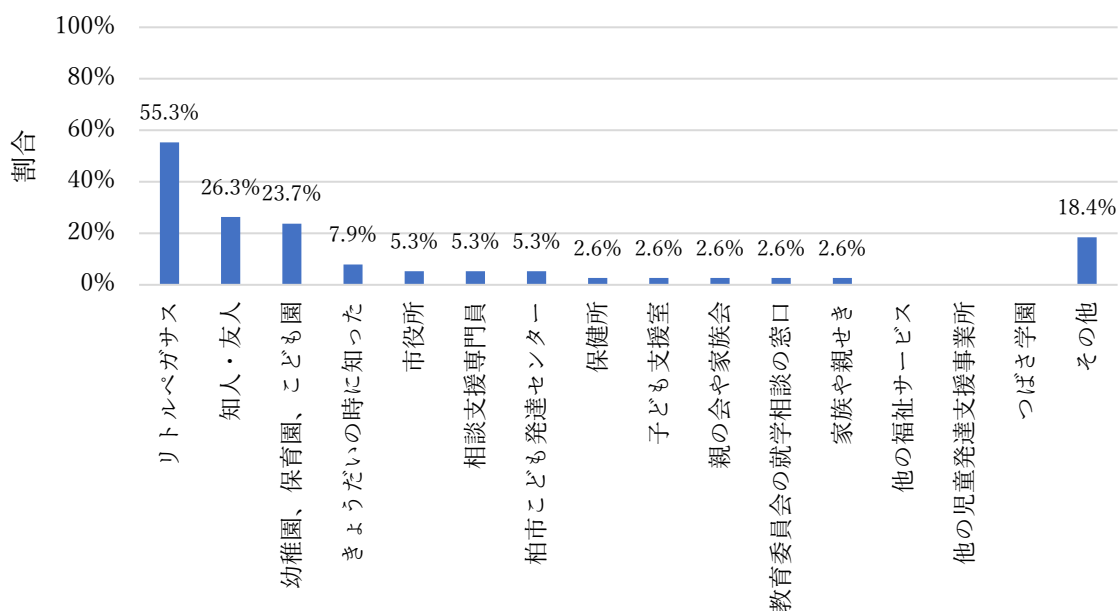
年少以前から知っている方もいれば、年長になってから知った方もいらっしゃるようです。

知った時期	度数	有効パーセント
年少	11	28.9
年中	17	44.7
年長	4	10.5
その他	6	15.8
合計	38	100.0

### (4) 教育委員会が行う就学相談を誰から知ったか

教育委員会が行う就学相談を知ったのは、2人に1人は「リトルペガサス」だということがわかりました。

ご家族で就学先を検討していただく上で、教育委員会の就学相談を有効に活用してください。面談やリトルペガサスの勉強会、お知らせなどを通じて適時に情報を提供していきます。



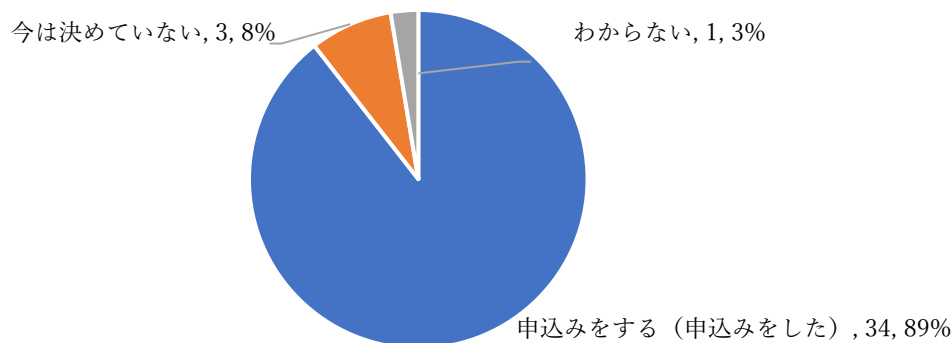


#### (5) 年長になった時、就学相談を申し込むか（申し込んだか）

ほとんどの人が「年長になったときに就学相談を申し込む」とされました。

年中児の保護者向けの柏市主催『柏市の就学相談の流れ』の勉強会の開催があれば随時お知らせさせていただきます。

また、個別の面談や、リトルペガサスの勉強会、お知らせなどを通じて適時に就学に関する情報も提供していきます。



アンケートでは、リトルペガサスの追加質問で「サポートファイル」と「教育委員会が行う就学相談」について、お聞きしました。

「サポートファイル」と「教育委員会が行う就学相談」は、一人ひとりの成長の記録の整理、就学に向けた進路相談と、いずれも子どもたちだけでなくご家族にとっても大切なことですが、まだまだお母さん方は情報を正確にキャッチできていないことが知られました。逆に言いますと、私たちから適確に情報をお伝えできていないこともわかりました。

コロナ禍ではありますが、様々な機会を通じて、一人ひとりに対して工夫して取り組んでいきたいと思えます。「就学相談」だけでなく、ご家族のこと、お子さんのこと、進路のこと、気になることがありましたら、ご相談はいつでもお受けしております。お気軽にお声をお掛けください。

今回のアンケート調査でリトルペガサスへのご意見・ご要望をお聞かせ下さり、一つひとつ、じっくり読ませていただきました。たくさんのご意見が職員の励みになりました。

リトルペガサスは『家族みんなの応援団』をモットーに日々の活動も楽しく、色々な企画もしていきたいと思えます。今後とも、ご協力よろしく願いいたします。

(リトルペガサス職員一同)